

「公共施設に関する市民アンケート」

および

「公共施設利用者アンケート」

(平成 26 年度)

詳細分析結果報告書

平成 27 年 3 月

新潟市財産管理運用課

○調査概要

市民の市の施設に関する意向や利用状況を把握するため、公共施設に関する市民アンケート調査と公共施設利用者アンケート調査を次のとおり実施しました。

1. 公共施設に関する市民アンケート

- (1) 調査対象：平成 26 年 8 月末現在の住民基本台帳に登録されている 15 歳以上の市民 9,400 人
- (2) 抽出方法：市内各区（全 8 区）より 1,175 人ずつを無作為抽出
- (3) 調査方法：郵送法（調査票の配布、回収とも）
- (4) 調査期間：平成 26 年 9 月 12 日～11 月 8 日
- (5) 回収結果：有効回収数 5,276 人、有効回収率 56.1%

2. 公共施設利用者アンケート（公民館）

- (1) 調査対象：地区公民館 24 館の利用者および団体
（有効回収数 871 人・団体）
- (2) 調査期間：平成 26 年 10 月 20 日～11 月 7 日

3. 公共施設利用者アンケート（老人憩の家）

- (1) 調査対象：老人憩の家 10 施設の利用者
（有効回収数 415 人）
- (2) 調査期間：平成 26 年 11 月 18 日～12 月 4 日

- 本資料で用いる各項目の調査結果は、不明分・無回答分を含みません。
- 「n」は、不明分・無回答分を除いた回答者総数（または設問該当者数）を表します。
- 「公共施設に関する市民アンケート」結果の市全体数字は、区・性別・年齢で重み付けをしたウェイトバック補正をしてあります（補正値を使ったものには、全体数(n)にアスタリスク(*)を付しています)。したがって、各区の合計と全体は一致しません。
- 本文中および図表中、意味を損なわない範囲で、調査票中の表記を簡略化するなど異なる表現をしたものがあります。
- 数値の単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しないことがあります
- 本文中に示した数字は、複数の選択肢を合算したものを掲載している場合があります。
（例：「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合算 → 「支持する」）

■■■ 本報告書の構成 ■■■

1. 公共施設に関する市民アンケート		
1-1 市の施設に関連する市民の活動	・・・	1
1-2 市の施設の利用経験	・・・	7
1-3 市の施設の利用頻度	・・・	10
1-4 施設の利用目的（「市の図書館・図書室」、「市の公民館・コミセンなど」のみ）	・・・	12
1-5 利用する主な部屋のタイプ（「市の公民館・コミセンなど」、「市の体育施設」のみ）	・・・	14
1-6 施設までの交通手段	・・・	16
1-7 施設までの移動時間	・・・	22
1-8 類似施設や類似サービスの利用について	・・・	28
1-9 施設の適地について	・・・	34
1-10 その他（1）市民が利用する図書館を学校に整備することの是非について	・・・	35
1-11 その他（2）利用率（平均35%）を踏まえ、今後、公民館・コミセンはどうあるべきか	・・・	38
1-12 公共施設マネジメントのあり方について	・・・	40
2. 公共施設利用者アンケート（公民館）		
2-1 施設利用と公民館利用登録の状況	・・・	41
2-2 利用頻度	・・・	43
2-3 ほかの活動場所の有無	・・・	44
2-4 部屋タイプと利用目的	・・・	45
2-5 部屋タイプと利用目的の関係	・・・	46
2-6 施設を選ぶときに重要視すること	・・・	47
2-7 施設への移動手段と利用者の居住する区の関係	・・・	48
2-8 公民館施設が開放されたら使いたいと思うか	・・・	50
3. 公共施設利用者アンケート（老人憩の家）		
3-1 施設利用者の状況	・・・	51
3-2 利用頻度・利用時間と利用目的	・・・	52
3-3 交通手段と移動時間の状況	・・・	55
3-4 「老人憩の家」の開放について	・・・	56

1. 公共施設に関する市民アンケート

1-1 市の施設に関連する市民の活動

市民が日頃どのような活動をし、それぞれの活動の場としてどのように市の施設を使っているのかを明らかにするため、過去1年間の活動経験について尋ねた設問です。

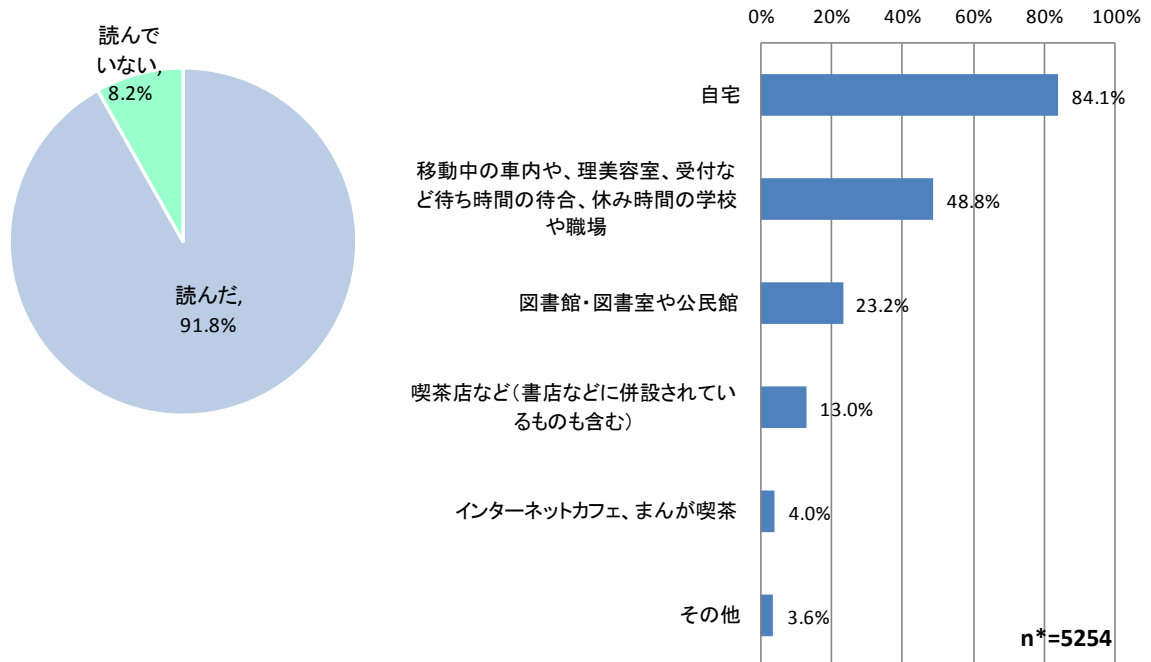
【図書館・図書室】

- ・ 91.8%が、過去1年間に読書をした経験があると回答しています。
- ・ 読書をした場所（複数回答可）について、84.1%が「自宅」、48.8%が「移動中の車内や理美容室、受付待合、学校や職場等」を挙げています。「図書館・図書室や公民館」は23.2%となっています。
- ・ 読んだ本の入手方法（複数回答可）について、73.9%が「購入した」、49.2%が「(外出先に備え付けで)あるものを読んだ」としています。「図書館・図書室で借りて読んだ」は20.8%、「図書館・図書室での閲覧」は18.2%となっています。
- ・ 読んだ本の入手方法（複数回答可）の「その他（5.6%）」の内容（自由記載）の主なものは、「家族・知人に借りた」、「店舗で読んだ」というものでした。
- ・ 73.7%が、DVDやインターネット配信（動画投稿サイト含まず）の映像を視聴した経験があると回答しています。
- ・ 映像を視聴した場所（複数回答可）について、71.8%が「自宅」、15.7%が「移動中の車内や理美容室、受付待合、学校や職場等」を挙げています。「図書館・図書室や公民館の視聴コーナー」は2.1%となっています。
- ・ 映像の入手方法（複数回答可）について、44.9%が「レンタル店等で借りた」、32.7%が「購入した」としています。「図書館・図書室で借りて視聴した」は2.9%、「図書館・図書室や公民館の視聴コーナーで視聴した」は1.8%となっています。
- ・ 映像の入手方法（複数回答可）の「その他（5.1%）」の内容（自由記載）の主なものは、「知人・家族に借りた」、「別の商品の付録（特典）についていた」というものでした。
- ・ 勉強や調査・研究を行った場所（複数回答可）について、70.4%が「自宅・学校・職場のみ」と回答しています。「図書館・図書室」は18.9%となっています。

<設問>

問6：この1年間、あなたは、本や雑誌（新聞を除く）をどこで読みましたか（お子さんへの読み聞かせなども含みます）。（〇はあてはまるものすべて）

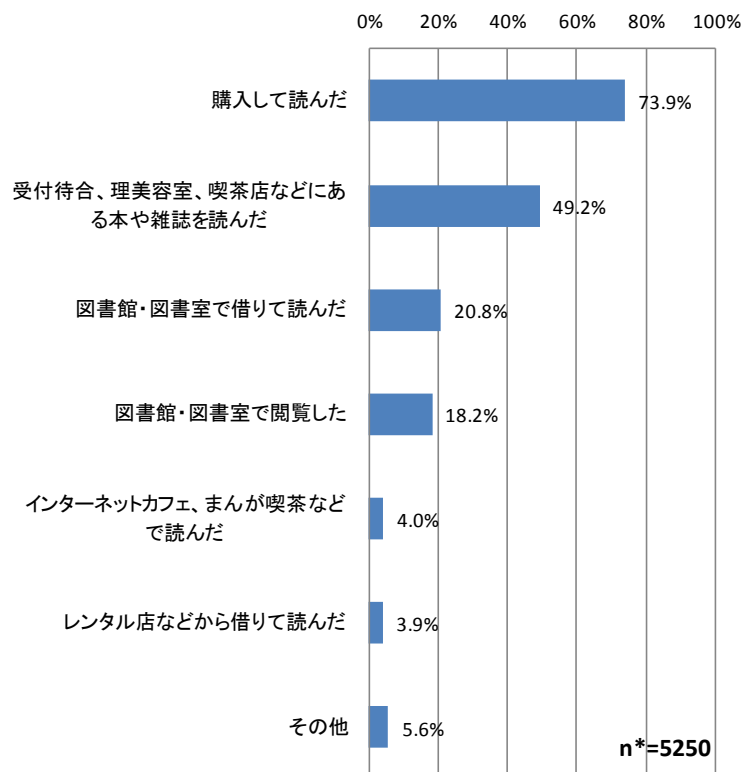
図 -1 読書経験と読書の場所



<設問>

問7：この1年間、あなたは、本や雑誌（新聞を除く）を、どのようにして読みましたか。（〇はあてはまるものすべて）

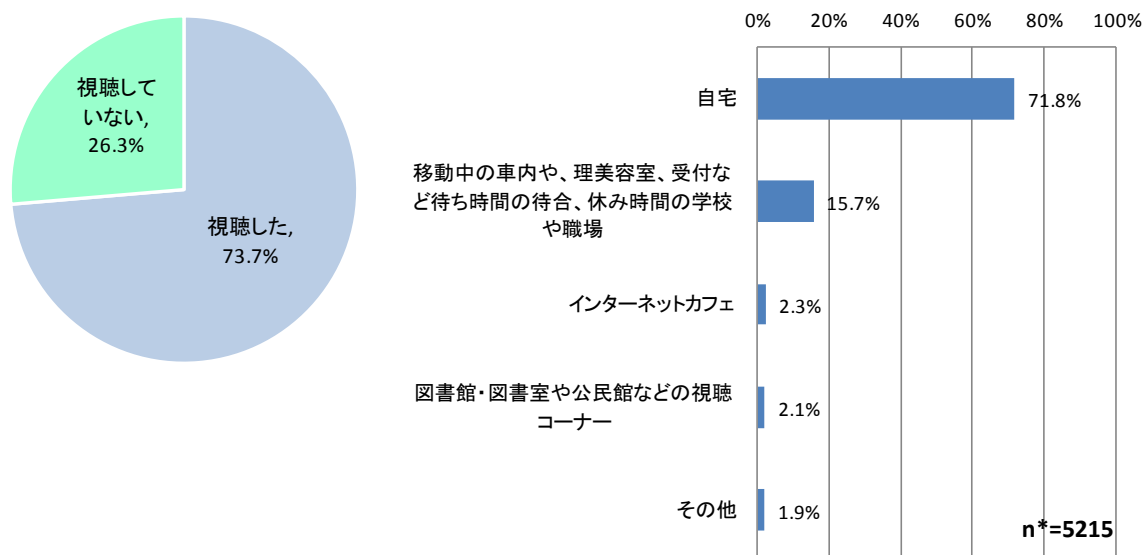
図 -2 本や雑誌の入手方法



<設問>

問8：この1年間、あなたは、DVDなどの映像やインターネットの映像配信をどこで視聴しましたか
(※テレビ放送・映画館などでの上映・動画投稿サイトの動画は含みません)。
(〇はあてはまるものすべて)

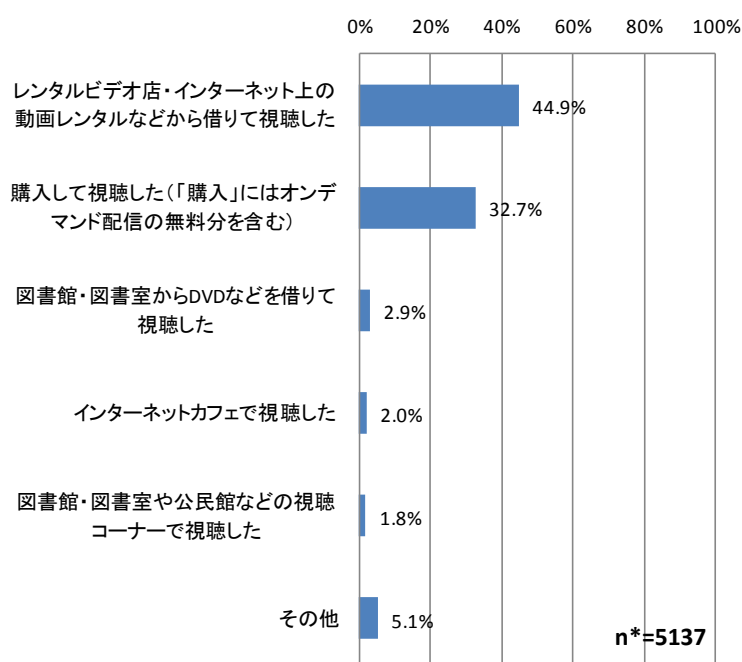
図-3 映像視聴経験と視聴場所



<設問>

問9：この1年間、あなたは、DVDなどの映像やインターネットの映像配信をどのようにして視聴しましたか (※テレビ放送・映画館などでの上映・動画投稿サイトの動画は含みません)。
(〇はあてはまるものすべて)

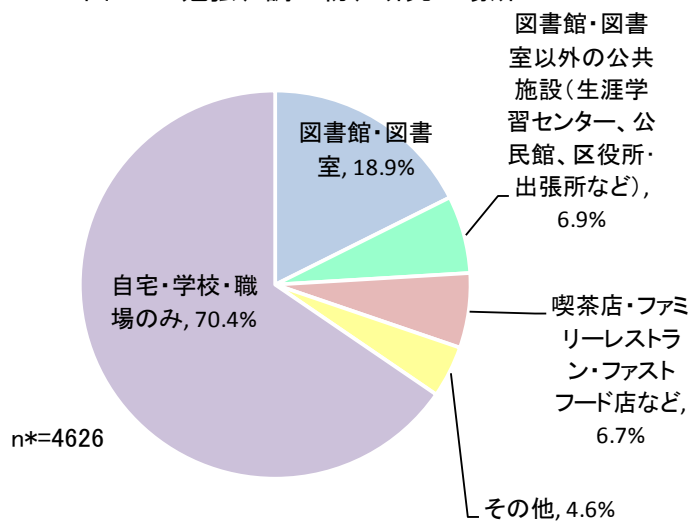
図-4 映像の入手方法



<設問>

問10：この1年間、あなたは、自宅や学校（塾・予備校を含む）・職場以外の場所で、勉強、調べ物、研究などを行いましたか。行った方は、場所を教えてください。（〇はあてはまるものすべて）

図 -5 勉強、調べ物、研究の場所



【市の公民館・コミュニティセンターなど】

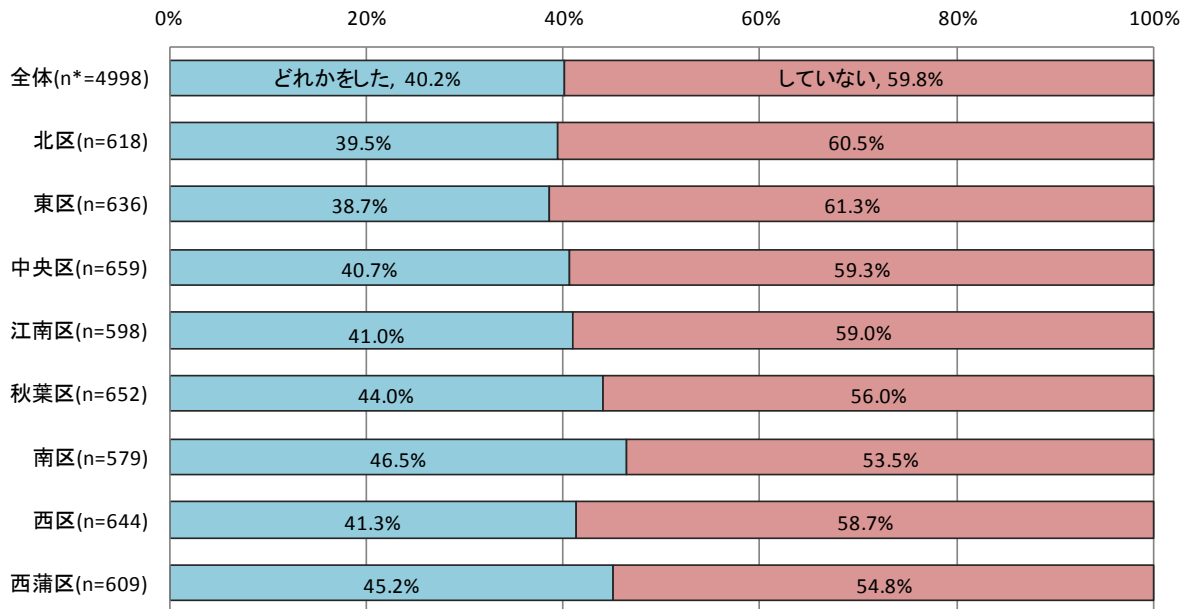
- ・ 40.2%が、過去1年間に、市の公民館やコミュニティセンターなど（以下、「市の公民館・コミセンなど」という。）の施設の目的に合った文化的活動・地域活動の経験があるとしています。

<設問>

問14：あなたは、この1年間で、次にあげる活動をしましたか。（○は1つだけ）

- 各種の習いごと、講座（趣味、教養、軽い運動など）への出席
- 同好会・サークル活動（学校単位のもの除きます）への参加
- 展覧会、発表会、文化祭（学校単位のもの除きます）への出品・出演、見学
- 公民館などが実施する「フリースペース」、「子供の居場所」の利用
- 自治会・町内会、コミュニティ協議会など地域の集会、イベントなどへの出席・参加

図 -6 文化活動、地域活動の経験（過去1年間）



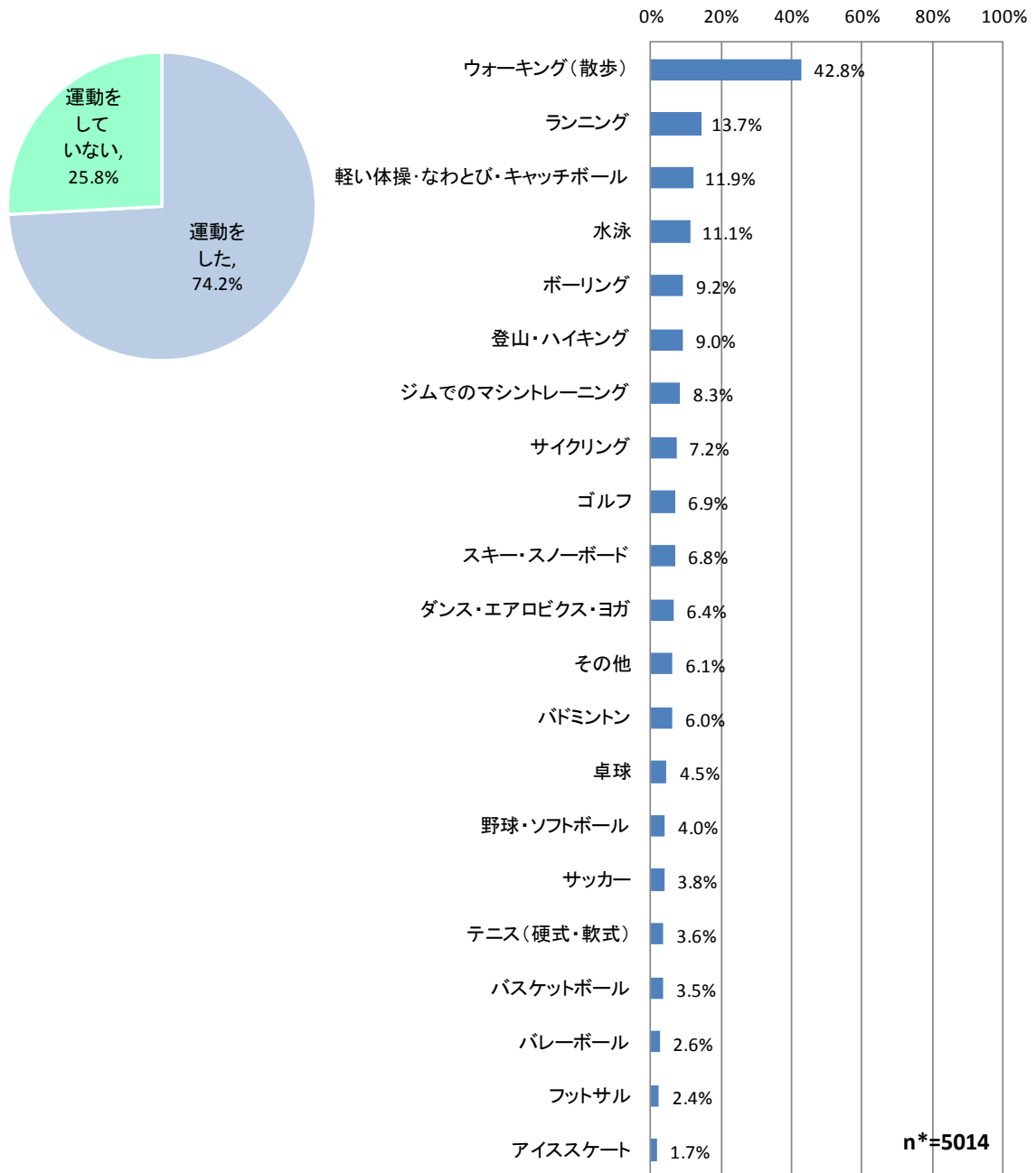
【市の体育施設】

- ・ 74.2%が、過去1年間に、運動・スポーツ活動の経験があるとしています。

<設問>

問19：あなたがこの1年間でした運動・スポーツはどのようなものですか。その種目を選択肢から選んでください。但し、学校の授業で行ったものは除きます。（〇はあてはまるものすべて）

図-7 運動・スポーツ活動の経験（過去1年間）



1%未満の種目:

柔道・剣道, その他の武道, スキューバダイビング, サーフィン・ボードセーリング, アーチERY, ゲートボール, 相撲, 弓道, ヨット, レスリング

1-2 市の施設の利用経験

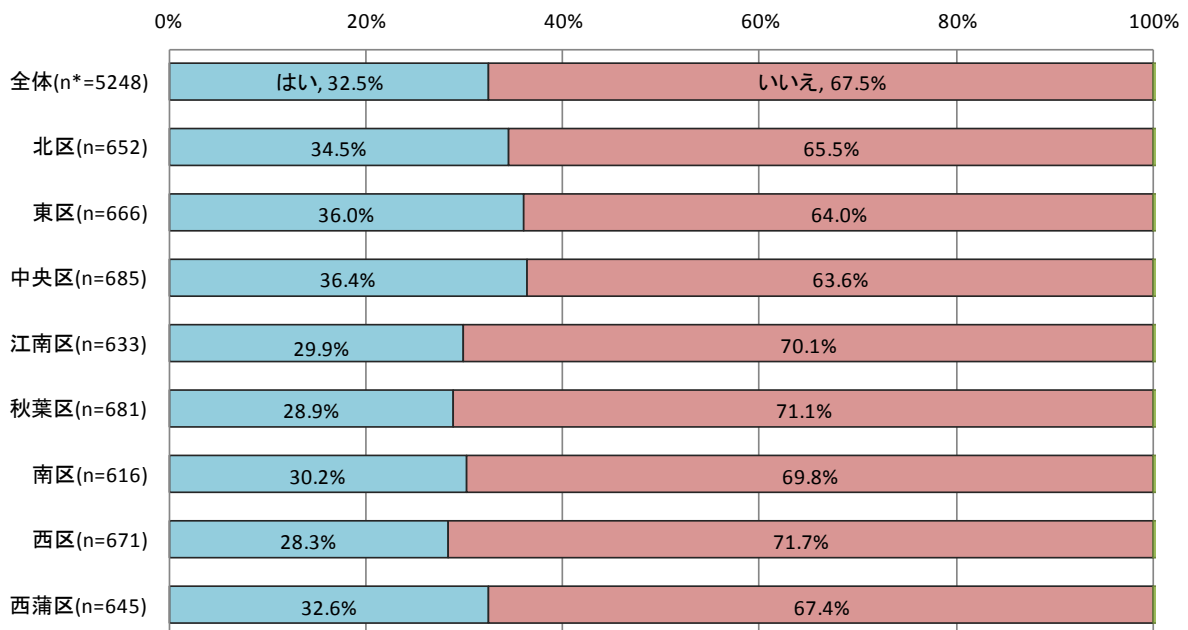
実際に各施設の利用経験があるかどうかについての設問です。

- 各施設の過去1年間における利用経験の有無に関する傾向は、次のとおりです。
- 【市の図書館・図書室】**
- 全体では、「利用した」という割合は**32.5%**です。
- 【市の公民館・コミセンなど】**
- 問14の設問中(5ページ)に掲げた文化活動・地域活動経験ありとした回答者のみでは、「利用した」という割合は**71.4%**です。
 - 全体では、「利用した」という割合は**28.7%**です。
- 【体育施設】**
- 運動・スポーツ経験ありとした回答者のみでは、「利用した」という割合は**36.0%**です。
 - 全体では、「利用した」という割合は**26.7%**です。
- なお、過去1年間に上記のいずれの施設も利用しなかった、という回答は、全体の**4.1%**(ウェイトバック補正なし、実数で217人)でした。

<設問>

問11：この1年間、あなたは、市の図書館・図書室を、1回以上利用しましたか。(〇は1つだけ)

図-8 図書館・図書室の利用経験



<設問>

問15：この1年間、あなたは、問14の活動をしたとき、市の公民館・コミセンなどを利用しましたか。(〇は1つだけ) ※「問14の活動」については5ページ<設問>問14を参照

図-9 公民館・コミセンなどの利用経験（文化活動・地域活動経験ありとした回答者のみ）

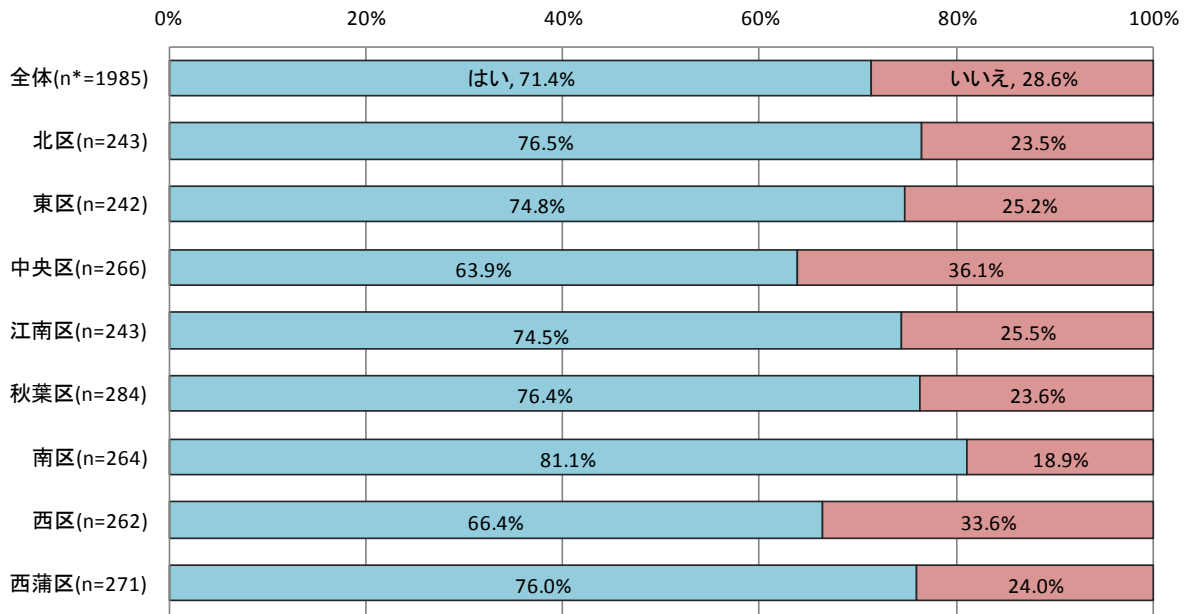
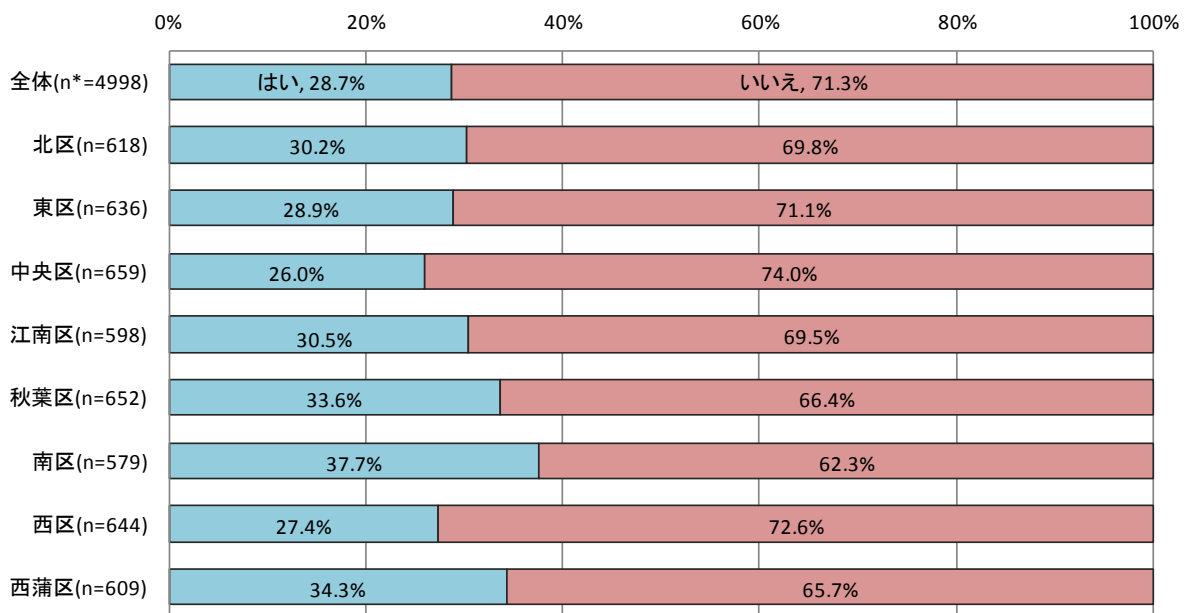


図-10 公民館・コミセンなどの利用経験（全体に占める割合）



<設問>

問20：あなたは、この1年間で、運動・スポーツをするために、市の体育施設を利用しましたか。
 ※「市の体育施設」には、市立小・中・高等学校の体育館などを含みません。(〇は1つだけ)

図 -11 体育施設の利用経験（運動・スポーツ経験ありとした回答者のみ）

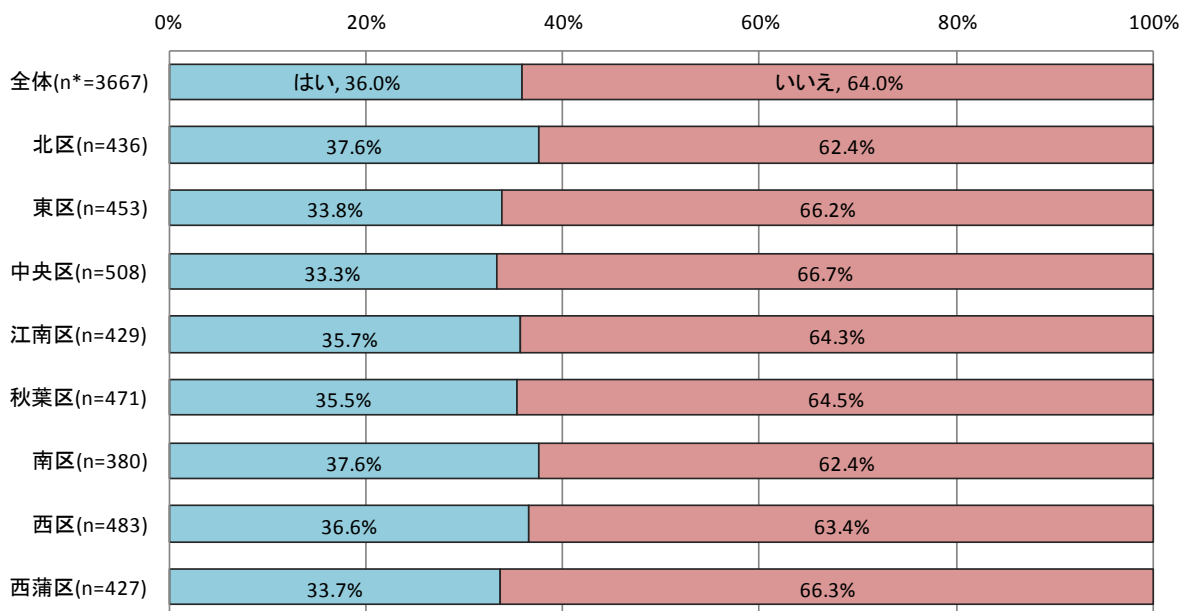
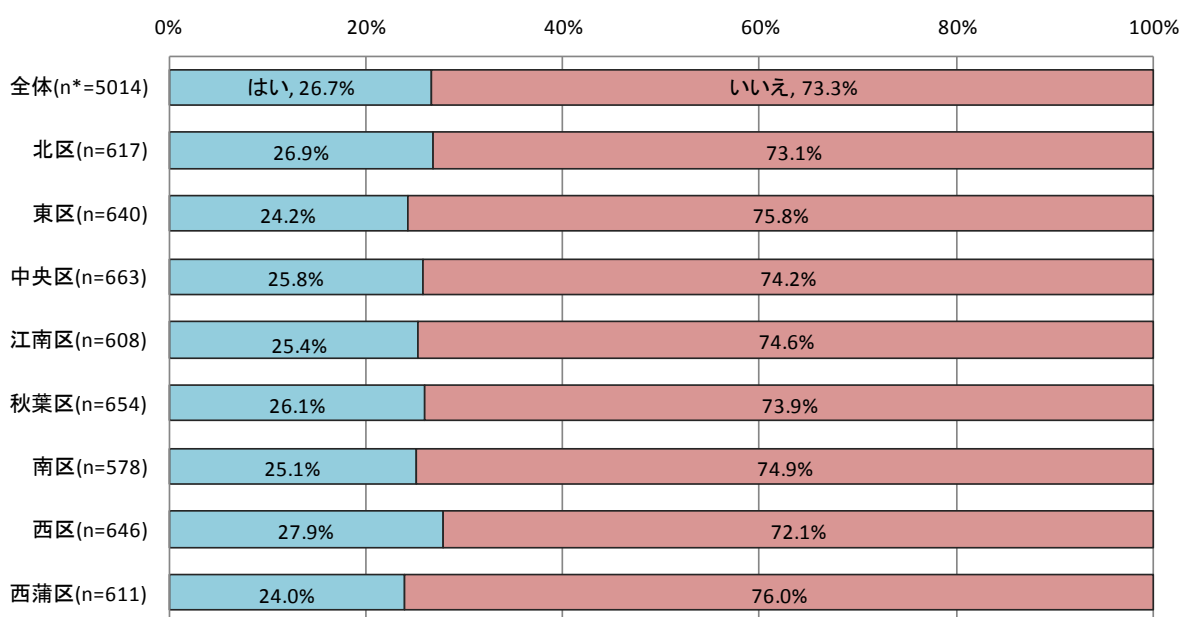


図 -12 体育施設の利用経験（全体に占める割合）



1-3 市の施設の利用頻度

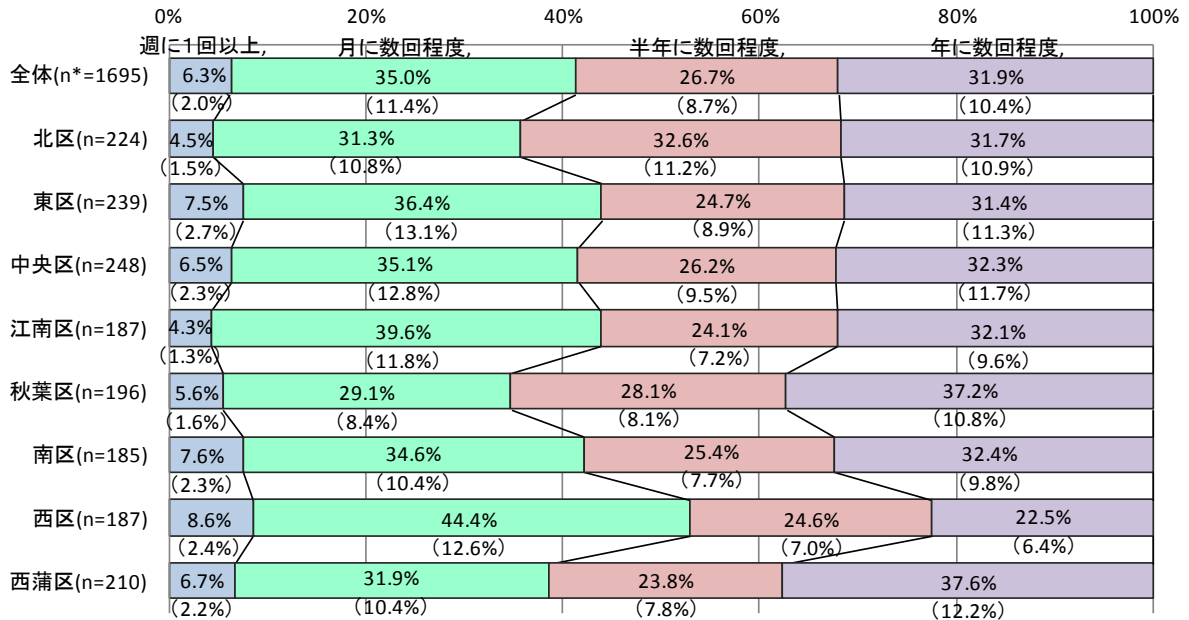
- 各施設の過去1年間における利用頻度に関する傾向は、次のとおりです。
- 【市の図書館・図書室】**
 - 過去1年間に利用経験ありとした回答では、「月に数回程度」以上の高い頻度での利用の割合は41.3%です。すべての回答（「過去1年間利用なし」の回答も含む）では、13.4%です。
 - 「月に数回程度」利用したという割合が西区で比較的高く（44.4%）なっています。
- 【市の公民館・コミセンなど】**
 - 過去1年間に利用経験ありとした回答では、「月に数回程度」以上の高い頻度での利用の割合は49.0%です。すべての回答（「過去1年間利用なし」の回答も含む）では、14.0%です。
 - 「月に数回程度」利用したという割合が中央区で比較的高く（42.1%）なっています。
- 【市の体育施設】**
 - 過去1年間に利用経験ありとした回答全体では、「月に数回程度」以上の高い頻度での利用の割合は45.5%です。すべての回答（「過去1年間利用なし」の回答も含む）では、12.2%です。
 - 「月に数回程度」以上利用したという割合が南区、江南区、西蒲区で5割を超えています。

<設問>

問12-1：

この1年間、あなたは、市の図書館・図書室をどの程度利用しましたか。（〇は1つだけ）

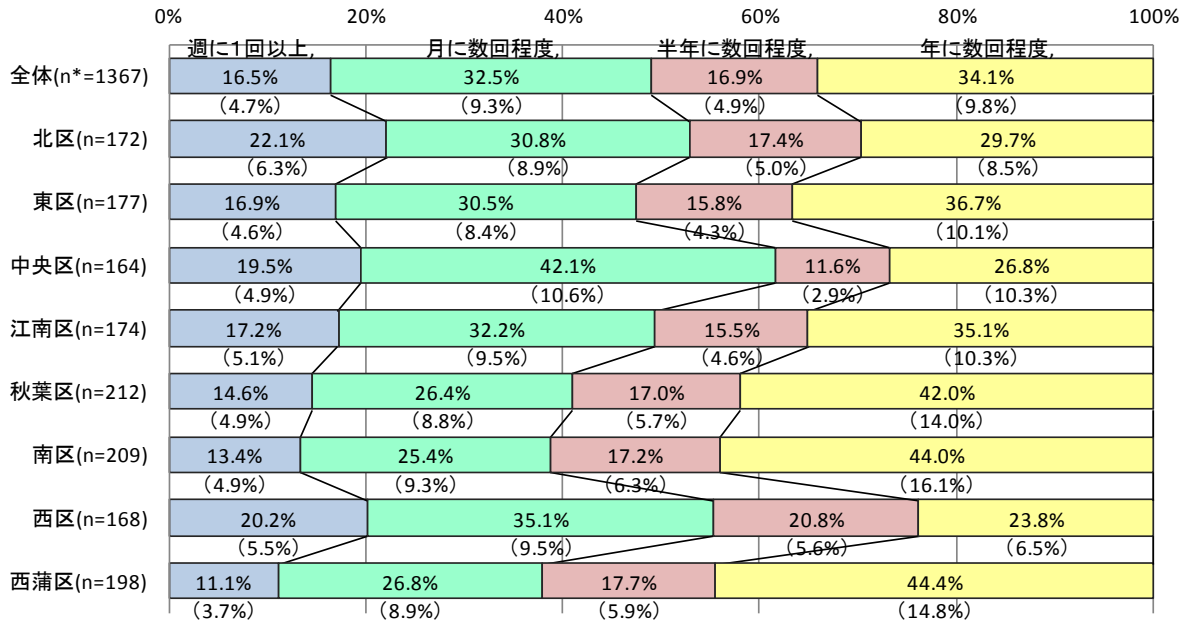
図-13 図書館・図書室の利用頻度 ※（ ）内は回答者全体に占める割合



<設問>

問16-1：この1年間、あなたは、問14の活動をしたとき、市の公民館・コミセンなどをどの程度利用しましたか（行きましたか）。（〇は1つだけ）

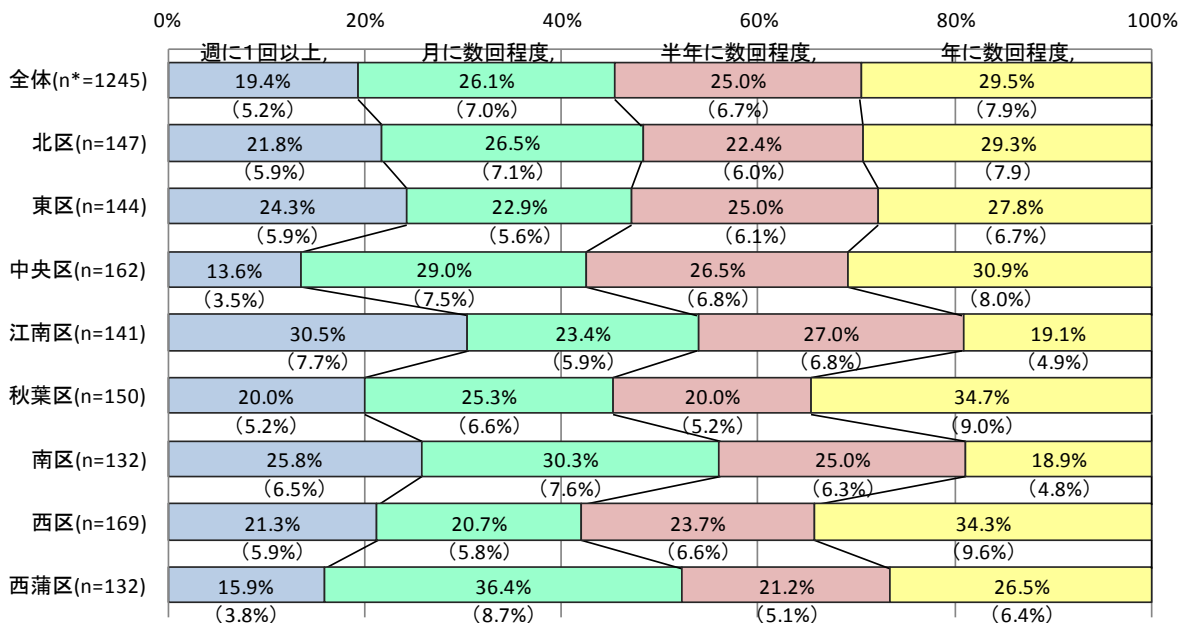
図-14 公民館・コミセンなどの利用頻度 ※（ ）内は回答者全体に占める割合



<設問>

問21-1：あなたは、この1年間で、運動・スポーツをするために、市の体育施設を利用しましたか。
※「市の体育施設」には、市立小・中・高等学校の体育館などを含みません。（〇は1つだけ）

図-15 体育施設の利用頻度 ※（ ）内は回答者全体に占める割合



1-4 施設の利用目的（「市の図書館・図書室」、「市の公民館・コミセンなど」のみ）

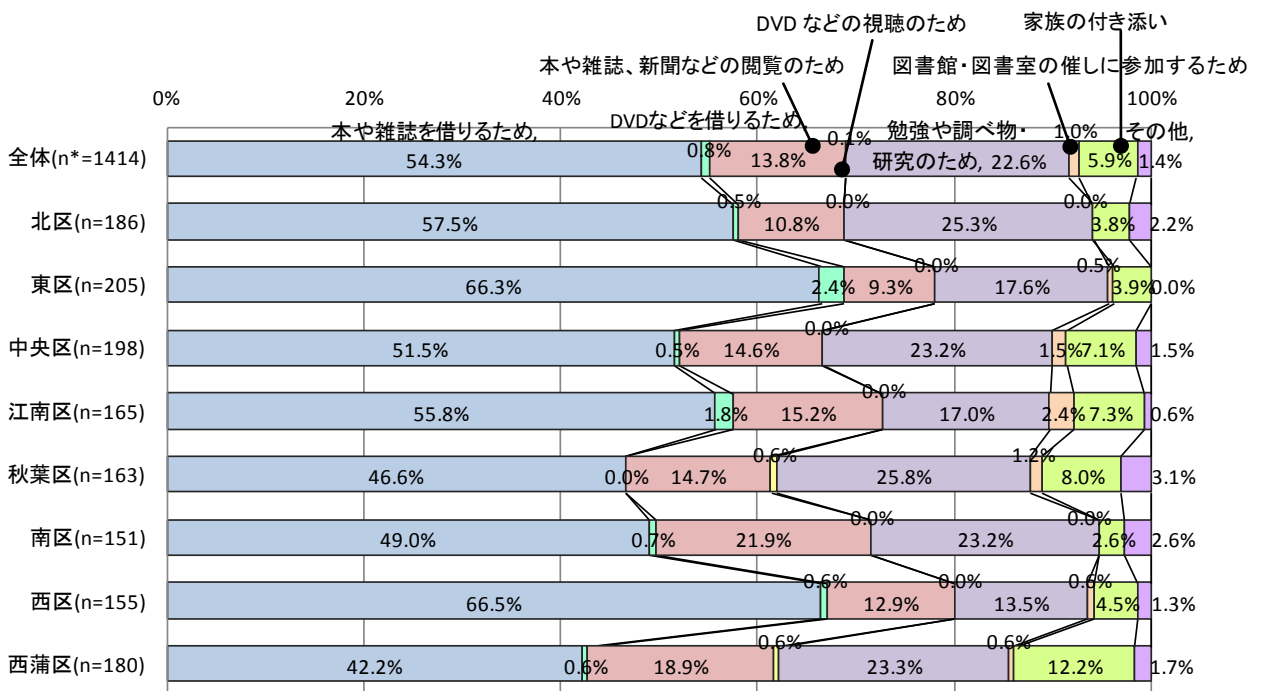
【市の図書館・図書室】

- ・ 全体では、「本や雑誌を借りるため」（54.3％）の割合が最も高くなっています。
- ・ 区では、特に西区（66.5％）と東区（66.3％）で高くなっています。
- ・ DVDなどのAV資料利用目的の割合は低くなっています（貸出、視聴合わせて0.9％）。
- ・ 「閲覧」、「勉強・調べ物」などの滞在型の利用は、南区（21.9％+23.2％）、秋葉区（14.7％+25.8％）、西蒲区（18.9％+23.3％）で比較的高くなっています。

<設問>

問12-2：この1年間、あなたが市の図書館・図書室を利用した主な目的は何ですか。（○は1つだけ）

図-16 施設の利用目的（市の図書館・図書室）



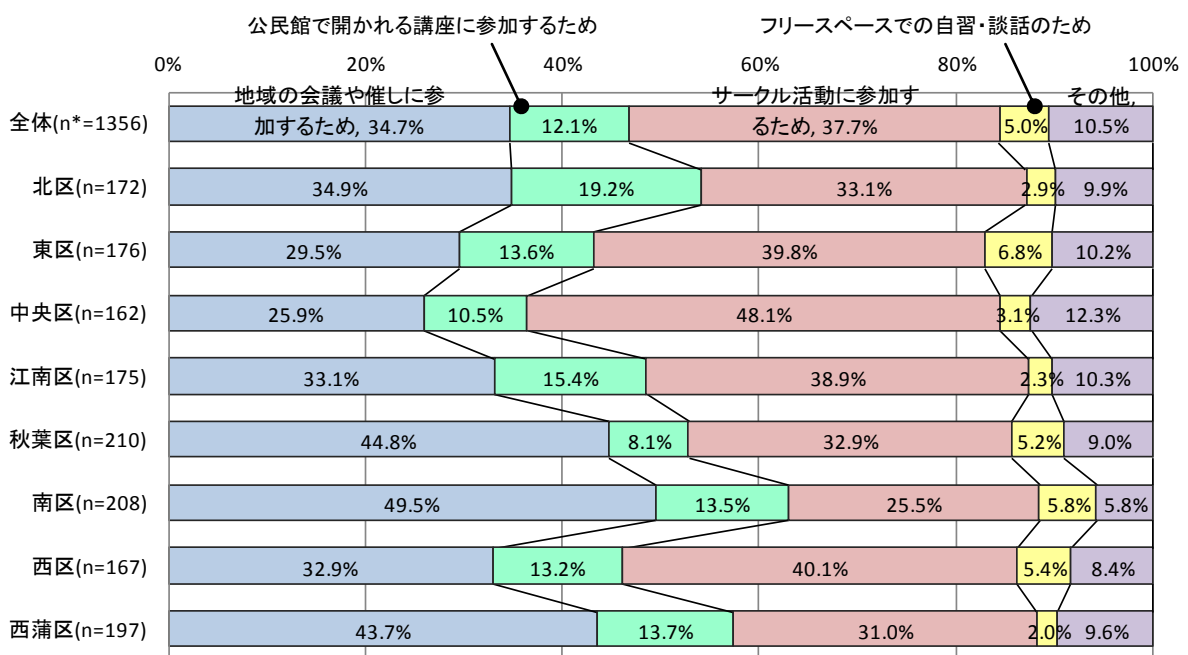
【市の公民館・コミセンなど】

- ・ 全体では、サークル活動に関連する活動の割合が最も高く（37.7%）、次いで地域に関連する活動（34.7%）、公民館で開かれる講座に参加（12.1%）の順になっています。
- ・ 地域に関連する活動の割合が比較的高いのは、南区（49.5%）、秋葉区（44.8%）、です。
- ・ サークル活動の割合が比較的高いのは、中央区（48.1%）、西区（40.1%）です。
- ・ 公民館で開かれる講座に参加の割合が比較的高いのは、北区（19.2%）、江南区（15.4%）です。

<設問>

問16-3：この1年間、問14の活動をしたとき、あなたが市の公民館・コミセンなどを利用した（行った）主な目的はなんですか。（〇は1つだけ）

図-17 施設の利用目的（市の公民館・コミセンなど）



1-5 利用する主な部屋のタイプ（「市の公民館・コミセンなど」、「市の体育施設」のみ）

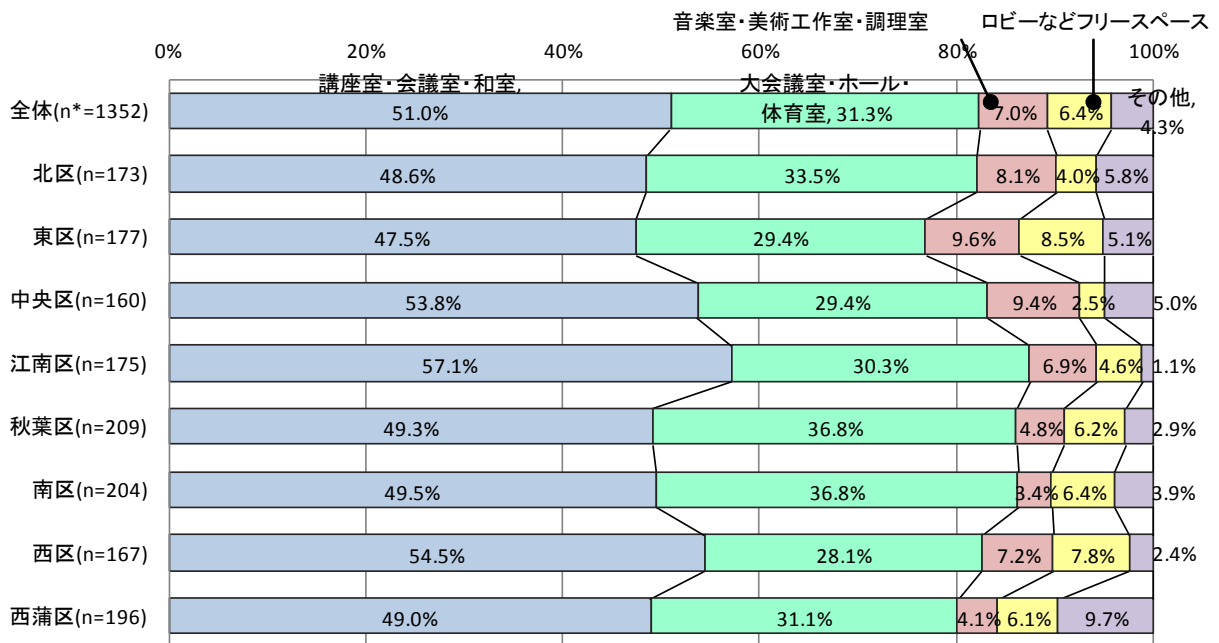
【市の公民館・コミセンなど】

- ・ 全体では、「講座室・会議室・和室」（51.0%）の割合が最も高く、次いで「大会議室・ホール・体育室」（31.3%）、「音楽室・美術工作室・調理室」（7.0%）となっています。
- ・ 区ごとに大きな差はみられませんが、「音楽室・美術工作室・調理室」などの特定の機能を持った部屋の利用について、南区（3.4%）、西蒲区（4.1%）、で比較的低くなっています。

<設問>

問16-2：この1年間で、問14の活動をしたとき、あなたがもっともよく利用した（行った）市の公民館・コミセンなどの部屋のタイプは次のうちどれですか。（〇は1つだけ）

図-18 利用した部屋のタイプ（市の公民館・コミセンなど）



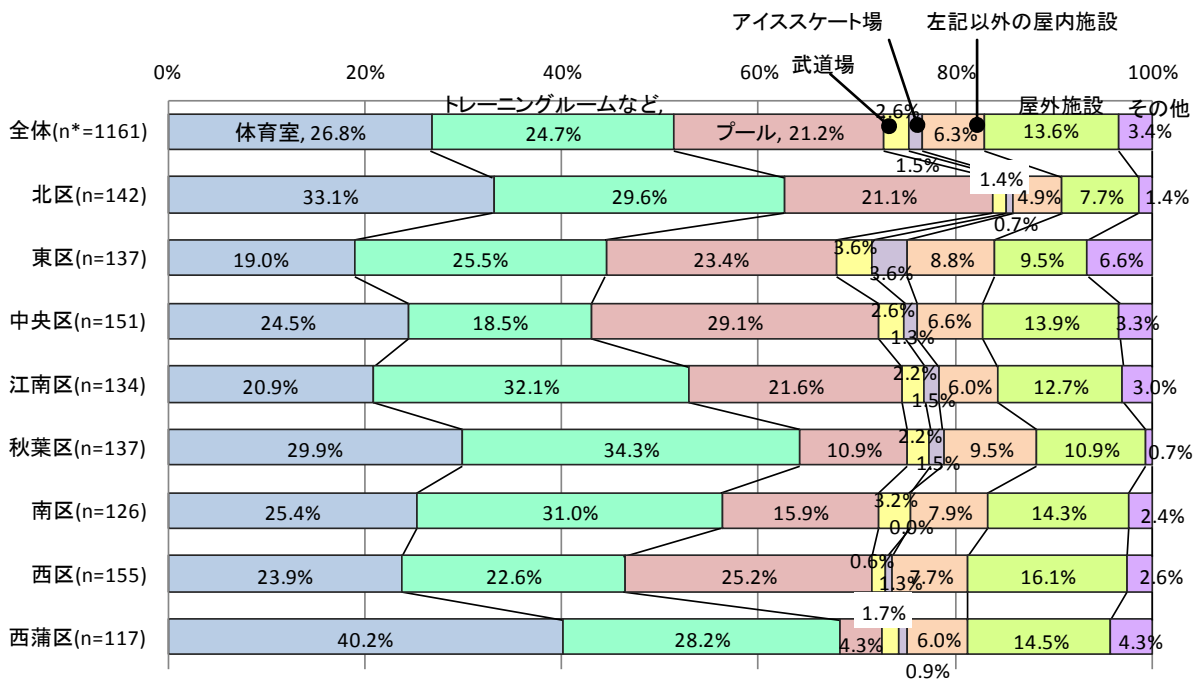
【市の体育施設】

- ・ 全体では「体育室」(26.8%)、次いで「トレーニングルームなど」(24.7%)の割合が最も高く、次いで、プール(21.2%)となっています。
- ・ 体育室の利用の割合が比較的高いのは西蒲区(40.2%)、北区(33.1%)、秋葉区(29.9%)です。
- ・ トレーニングルームの利用の割合が比較的高いのは秋葉区(34.3%)、江南区(32.1%)、南区(31.0%)です。
- ・ プールの利用の割合が比較的高いのは中央区(29.1%)、西区(25.2%)、東区(23.4%)です。

<設問>

問21-2：この1年間、運動・スポーツをするために、あなたがもっともよく使った市の体育施設の、施設タイプは次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

図-19 利用した部屋のタイプ(体育施設)



1-6 施設までの交通手段

各施設の利用経験があった回答者に対し、現在どのような交通手段を使っているか、と、施設が仮に今より遠い場所に移転した場合にどのような交通手段を使うか、について尋ねた設問です。

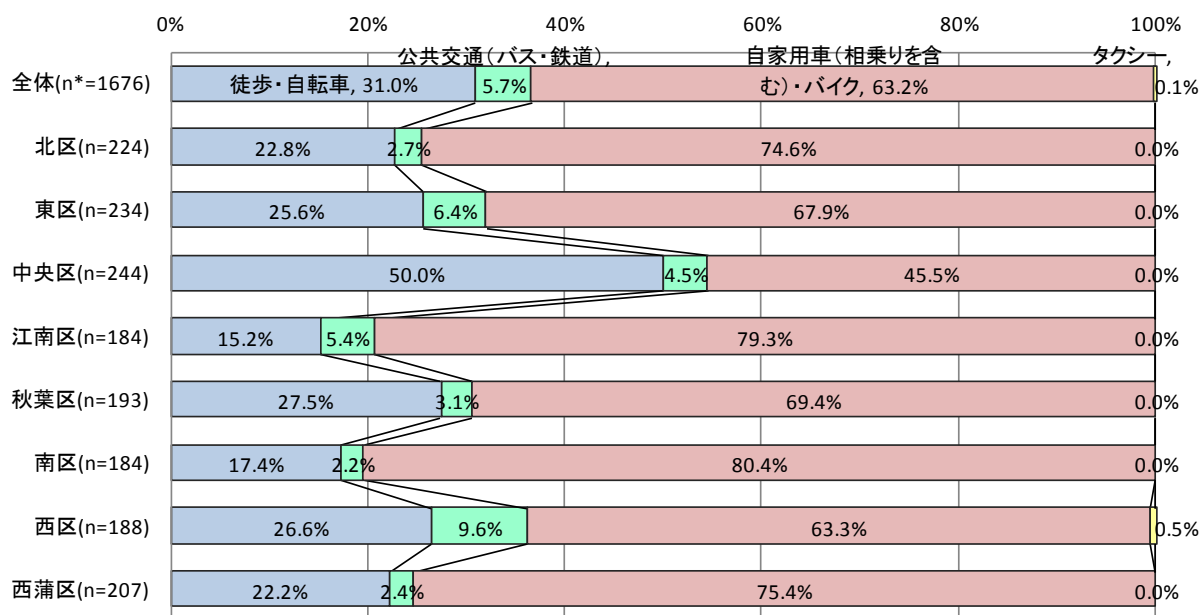
【市の図書館・図書室】

- ・ 全体では、63.2%が交通手段に「自家用車・バイク」を使用としています。
- ・ 中央区のみ、「徒歩・自転車」を選ぶ割合（50.0%）が、「自家用車・バイク」を選ぶ割合（45.5%）より高くなっています。
- ・ 交通手段として「自家用車・バイク」を選ぶ割合が8区の中で最も高いのは南区（80.4%）です。
- ・ 「今より遠い場所に移転した場合の交通手段」は、全体では、「自家用車・バイク」を使うとする回答が69.5%、「公共交通」を使うとする回答が9.5%となっています。「自家用車・バイク」が6.3%の増であるのに対し、「公共交通」は3.8%の増となります。
- ・ 施設移転後に「自家用車・バイク」を選ぶ割合の増加が比較的大きい区は、中央区（+9.5%）、北区（+8.6%）、西蒲区（+6.5%）です。
- ・ 施設移転後に、「公共交通」を選ぶ割合の増加が比較的小さい区は、秋葉区（+0.6%）、江南区（+1.2%）です。

<設問>

問12-3：この1年間、あなたが市の図書館・図書室を利用したとき、もっともよく使った交通手段と、移動のための所要時間を教えてください。（○は1つだけ）

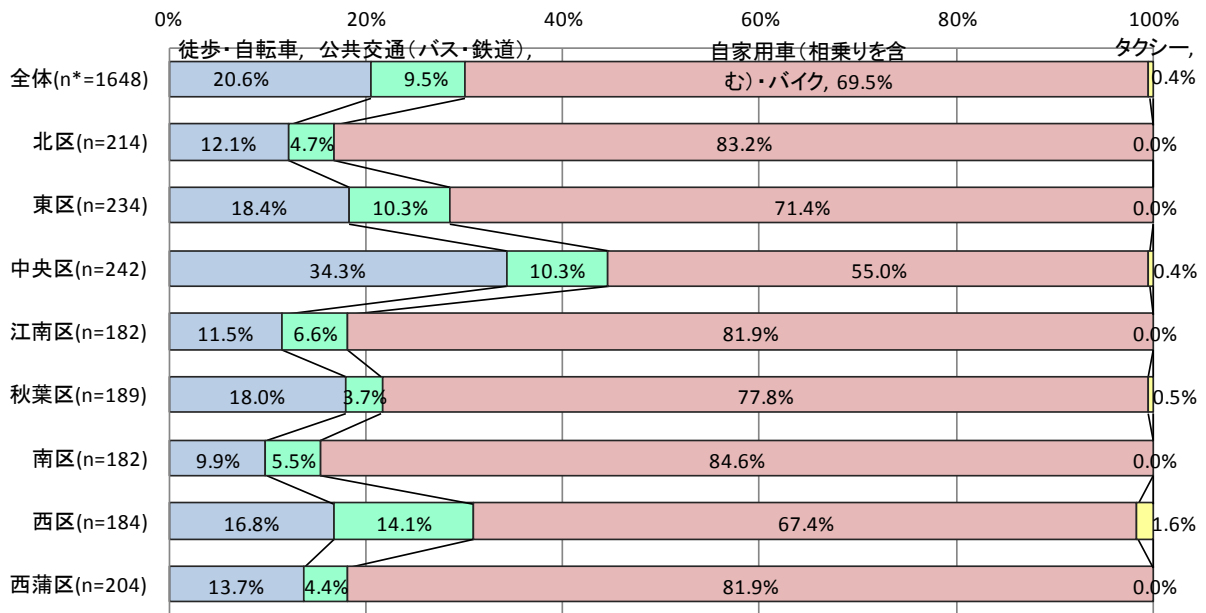
図 -20 交通手段（市の図書館・図書室）



<設問>

問12-4：あなたがこの1年間に使った市の図書館・図書室が、建て替えなどで今より遠くに移転するとした場合、どのくらいの距離までなら、使い続けることができますか。使い続けるために選ぶ交通手段と所要時間の組み合わせで教えてください。(〇は1つだけ)

図-21 施設移転後の交通手段(市の図書館・図書室)

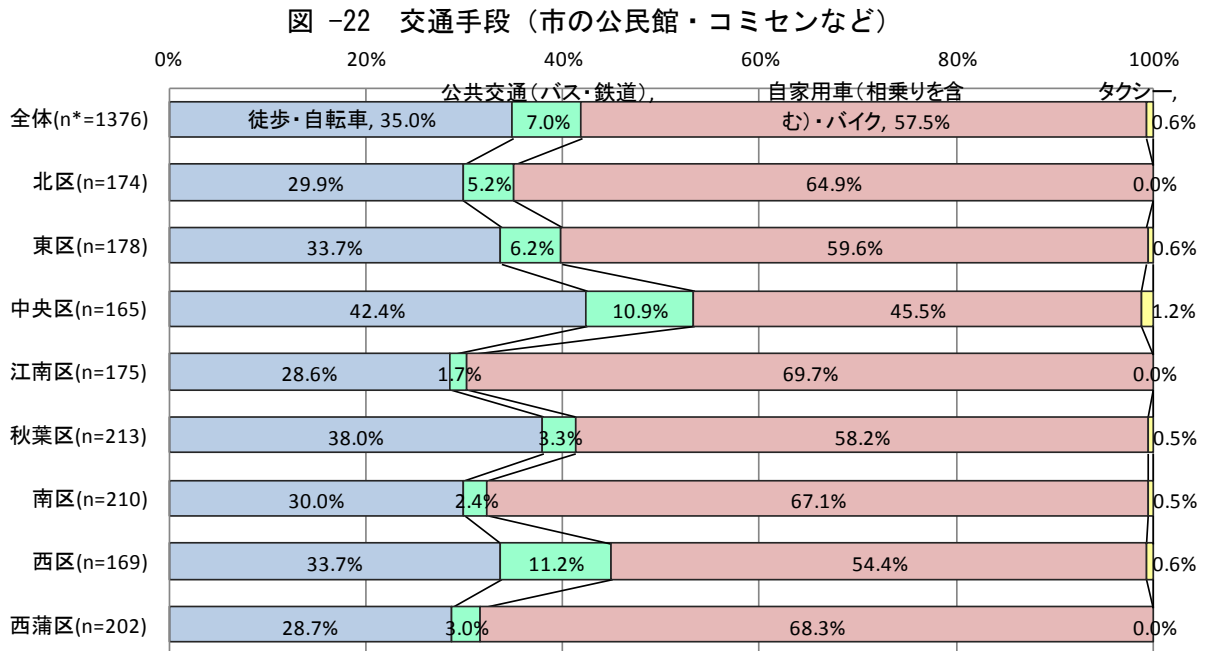


【市の公民館・コミセンなど】

- ・ 全体では、57.5%が交通手段に「自家用車・バイク」を使うとしています。
- ・ 中央区のみ、「徒歩・自転車」(42.4%)と「公共交通」(10.9%)を合わせた割合(53.3%)が、「自家用車・バイク」を選ぶ割合(45.5%)より高くなっています。
- ・ 交通手段として「自家用車・バイク」を選ぶ割合が8区の中で最も高いのは江南区(69.7%)です。
- ・ 「今より遠い場所に移転した場合の交通手段」は、全体では、「自家用車・バイク」を使うとする回答が68.4%、「公共交通」を使うとする回答が10.4%となっています。「自家用車・バイク」が10.9%の増であるのに対し、「公共交通」は3.4%の増となります。
- ・ 施設移転後に「自家用車・バイク」を選ぶ割合の増加が比較的大きい区は、秋葉区(+14.2%)、東区(+11.7%)です。
- ・ 施設移転後に、「公共交通」を選ぶ割合の増加が比較的小さい区は、秋葉区(+0.5%)、南区(+1.5%)です。

<設問>

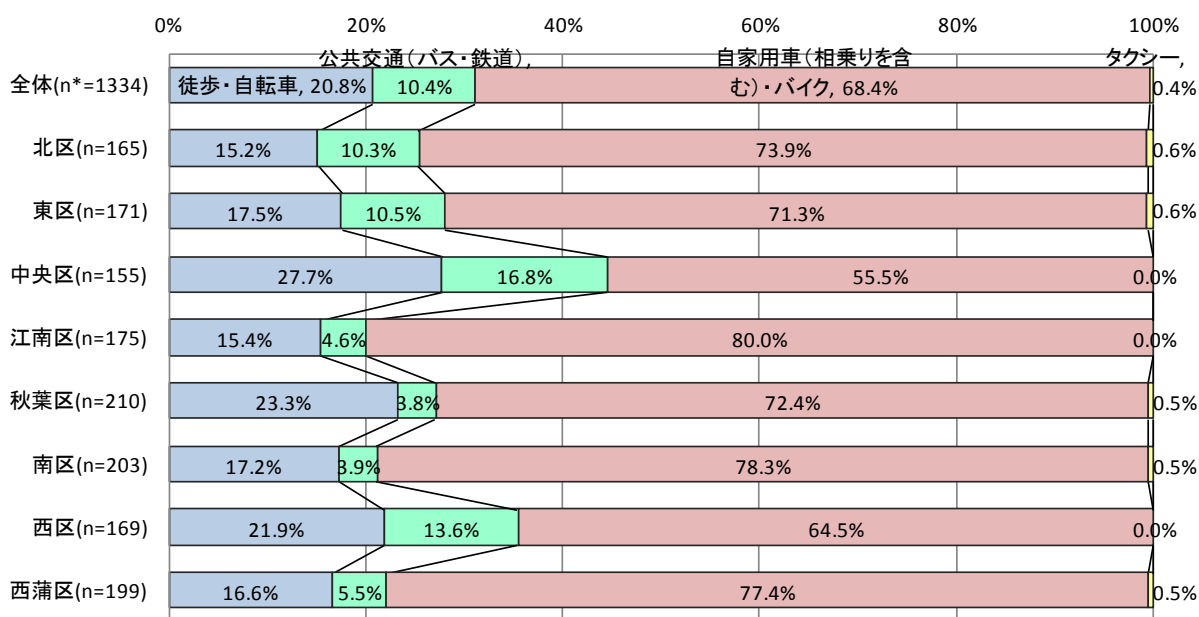
問16-5：この1年間、問14の活動のためにあなたが市の公民館・コミセンなどを利用したとき、もっともよく使った交通手段と、移動のための所要時間を教えてください。(〇は1つだけ)



<設問>

問16-6：あなたがこの1年間に使った市の公民館・コミセンなどが、建て替えなどで今より遠くに移転するとした場合、どのくらいの距離までなら、使い続けることができますか。使い続けるために選ぶ交通手段と、所要時間の組み合わせで教えてください。(〇は1つだけ)

図-23 施設移転後の交通手段(市の公民館・コミセンなど)



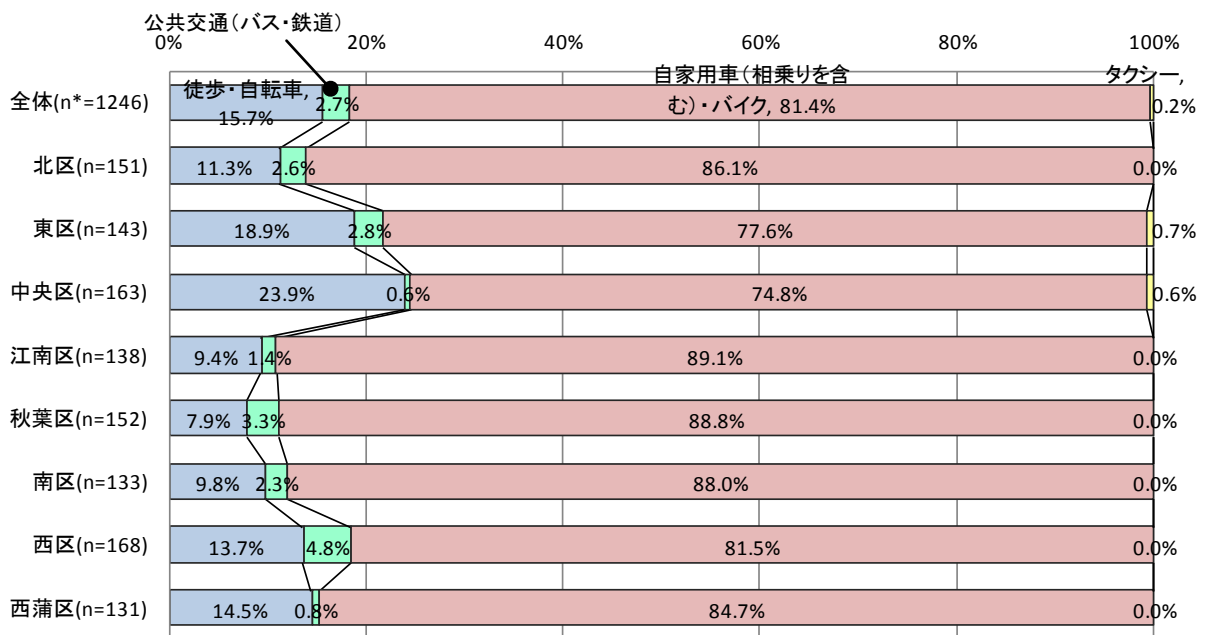
【市の体育施設】

- ・ 全体では、81.4%が交通手段に「自家用車・バイク」を使うとしています。
- ・ 交通手段として「自家用車・バイク」を選ぶ割合が8区の中で最も高いのは江南区（89.1%）です。
- ・ 「今より遠い場所に移転した場合の交通手段」は、全体では、「自家用車・バイク」を使うとする回答が84.2%、「公共交通」を使うとする回答が4.6%となっています。「自家用車・バイク」が2.8%の増であるのに対し、「公共交通」は1.9%の増となります。
- ・ 施設移転後に「自家用車・バイク」を選ぶ割合の増加が比較的大きい区は、中央区（+5.4%）、東区（+3.8%）です。
- ・ 施設移転後に、「公共交通」を選ぶ割合の増加が比較的小さい区は、秋葉区（+0.1%）、東区（+0.8%）です。

<設問>

問21-4：この1年間、あなたが運動・スポーツをするために市の体育施設を利用したとき、もっともよく使った交通手段と、移動のための所要時間を教えてください。（〇は1つだけ）

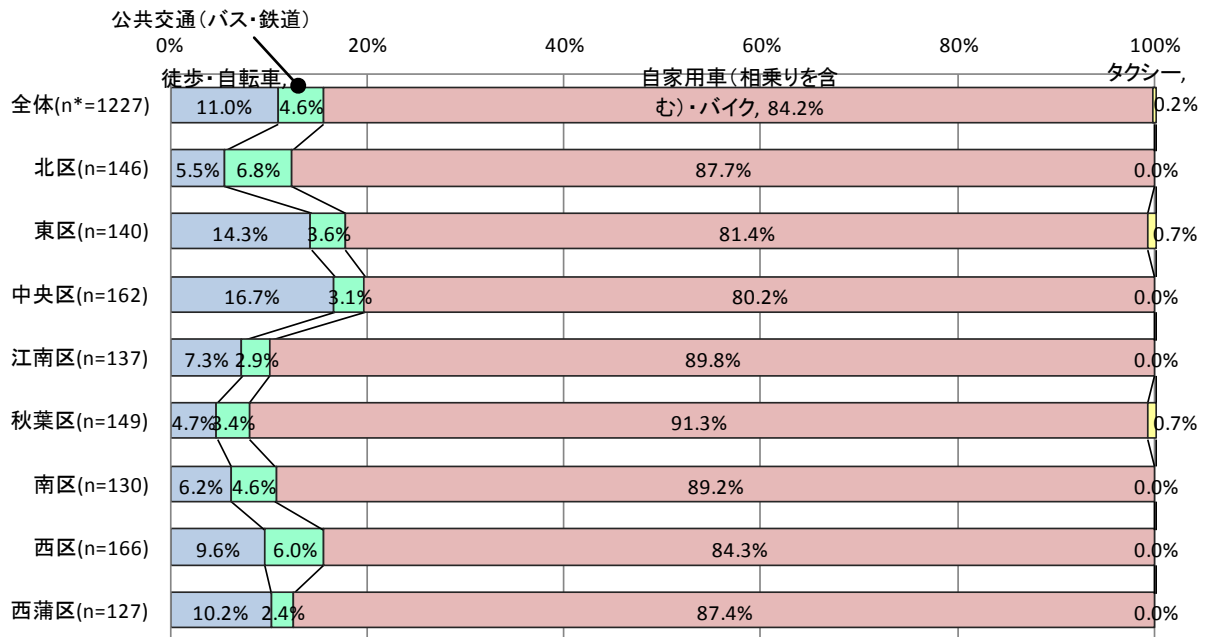
図-24 交通手段（市の体育施設）



<設問>

問21-5：あなたがこの1年間に使った市の体育施設が、建て替えなどで今より遠くに移転するとした場合、どのくらいの距離までなら、使い続けることができますか。使い続けるために選ぶ交通手段と、所要時間の組み合わせで教えてください。(〇は1つだけ)

図 -25 施設移転後の交通手段（市の体育施設）



1-7 施設までの移動時間

各施設の利用経験があるとした回答者に対し、現在、移動のための所要時間はどのくらいか、と、施設が仮に今より遠くに移転した場合、どのくらいの所要時間増であれば使い続けることができるか（≒移動時間増をどの程度許容できるか）について尋ねた設問です。

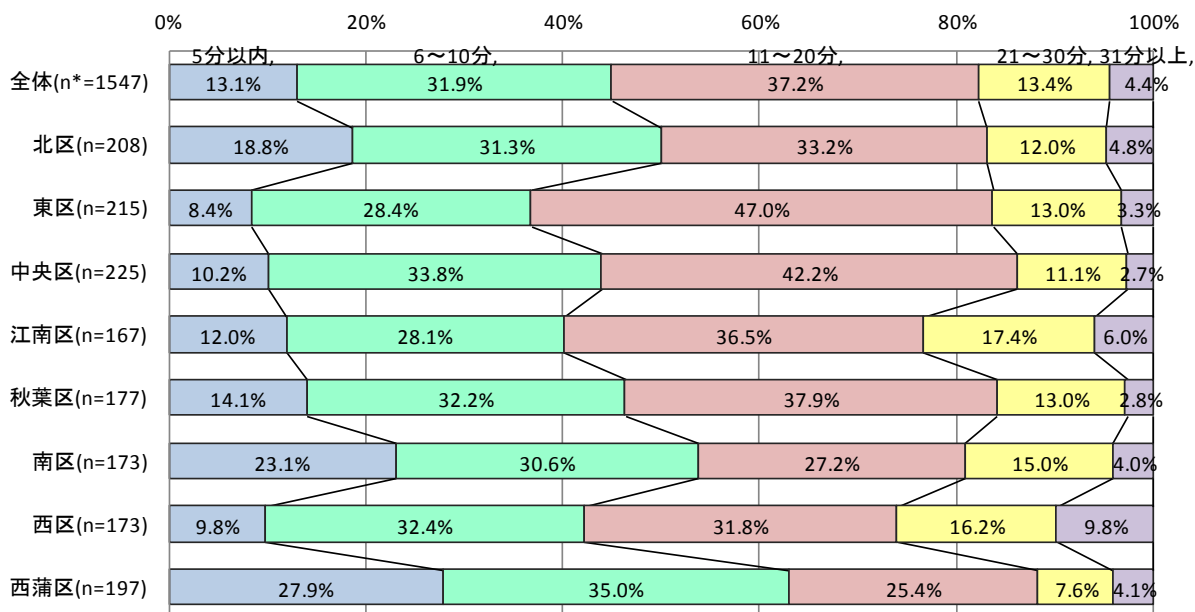
【市の図書館・図書室】

- ・ 全体では、82.2%が20分以内で施設まで移動すると回答しています。
- ・ 移動時間20分以内の割合が最も高い区は西蒲区（88.3%）、最も低い区は西区（74.0%）です。
- ・ 今より遠い場所に移転した場合に施設を使い続けることができる「移動するのに増える時間の上限」では、全体の47.4%が10分を超えても使い続けることができると回答しています。
- ・ 「移動するのに増える時間の上限」について、10分超を上限とした割合が最も高い区は秋葉区（53.9%）、西区（53.8%）で、最も低い区は西蒲区（39.5%）です。
- ・ 今より遠い場所に移転した場合、「使い続けられない」とした割合は、全体では13.8%で、最も高い区は南区（16.2%）、最も低い区は秋葉区（10.4%）です。

<設問>（再掲）

問12-3：この1年間、あなたが市の図書館・図書室を利用したとき、もっともよく使った交通手段と、移動のための所要時間を教えてください。（〇は1つだけ）

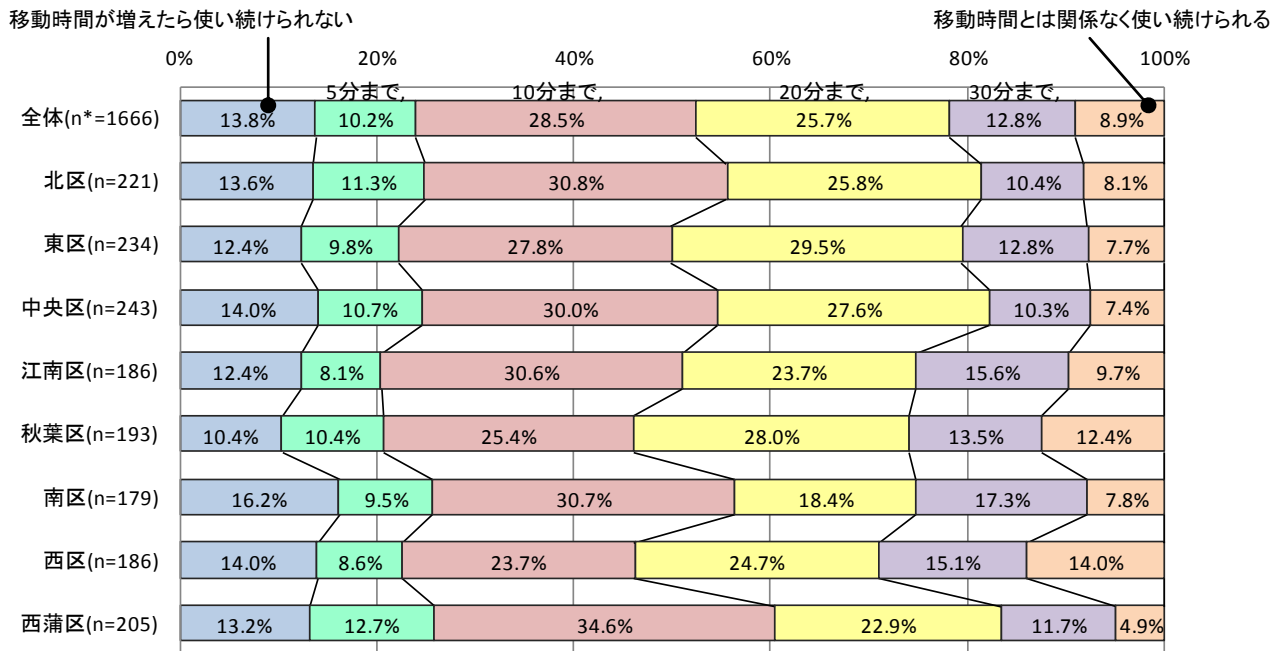
図-26 移動のための所要時間（市の図書館・図書室）



<設問> (再掲)

問12-4：あなたがこの1年間に使った市の図書館・図書室が、建て替えなどで今より遠くに移転するとした場合、どのくらいの距離までなら、使い続けることができますか。使い続けるために選ぶ交通手段と所要時間の組み合わせで教えてください。(〇は1つだけ)

図-27 施設移転後の移動所要時間の許容限度(市の図書館・図書室)



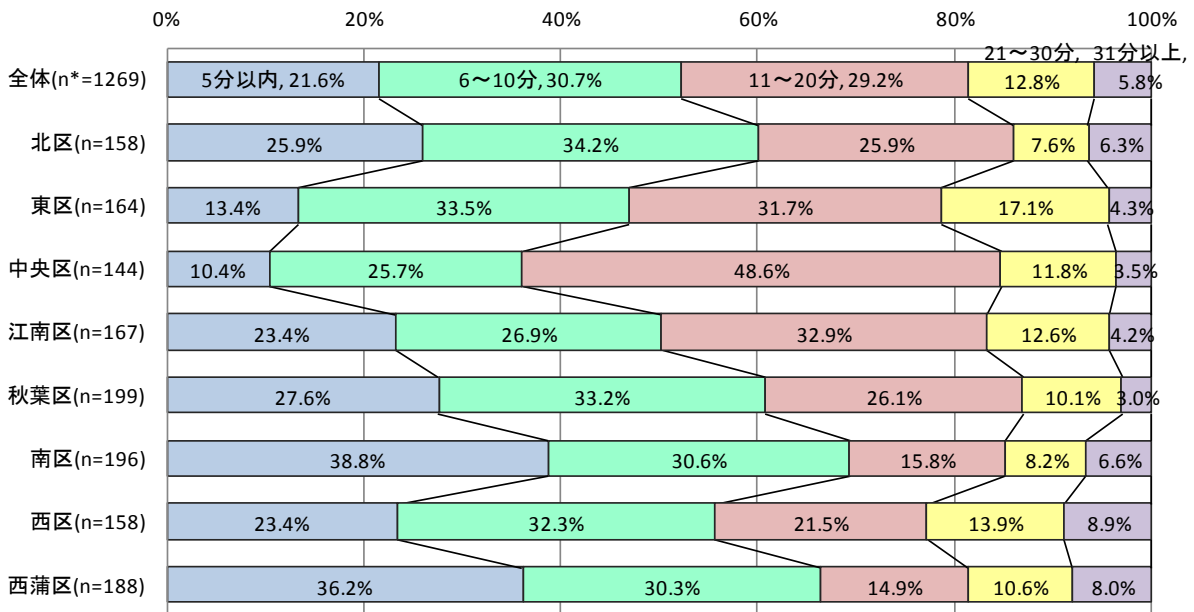
【公民館・コミセンなど】

- ・ 全体では、81.5%が20分以内で施設まで移動すると回答しています。
- ・ 移動時間20分以内の割合が最も高い区は秋葉区(86.9%)、最も低い区は西区(77.2%)です。
- ・ 今より遠い場所に移転した場合に施設を使い続けることができる「移動するのに増える時間の上限」では、全体の50.5%が10分を超えても使い続けることができると回答しています。
- ・ 「移動するのに増える時間の上限」について、10分超を上限とした割合が最も高い区は中央区(55.9%)で、最も低い区は西蒲区(38.4%)です。
- ・ 今より遠い場所に移転した場合、「使い続けられない」とした割合は、全体では10.8%で、最も高い区は西蒲区(15.4%)、最も低い区は西区(7.9%)です。

<設問> (再掲)

問16-5：この1年間、問14の活動のためにあなたが市の公民館・コミセンなどを利用したとき、もっともよく使った交通手段と、移動のための所要時間を教えてください。(〇は1つだけ)

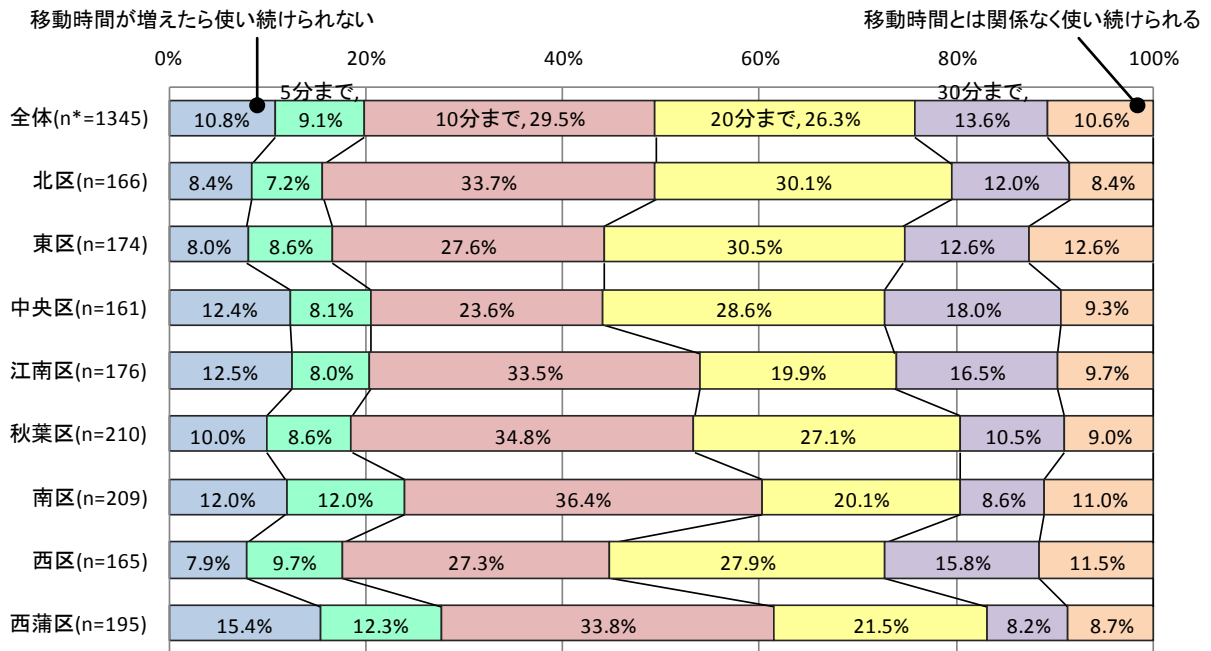
図-28 移動のための所要時間(市の公民館・コミセンなど)



<設問>

問16-6：あなたがこの1年間に使った市の公民館・コミセンなどが、建て替えなどで今より遠くに移転するとした場合、どのくらいの距離までなら、使い続けることができますか。使い続けるために選ぶ交通手段と、所要時間の組み合わせで教えてください。(〇は1つだけ)

図-29 施設移転後の移動所要時間の許容限度（市の公民館・コミセンなど）

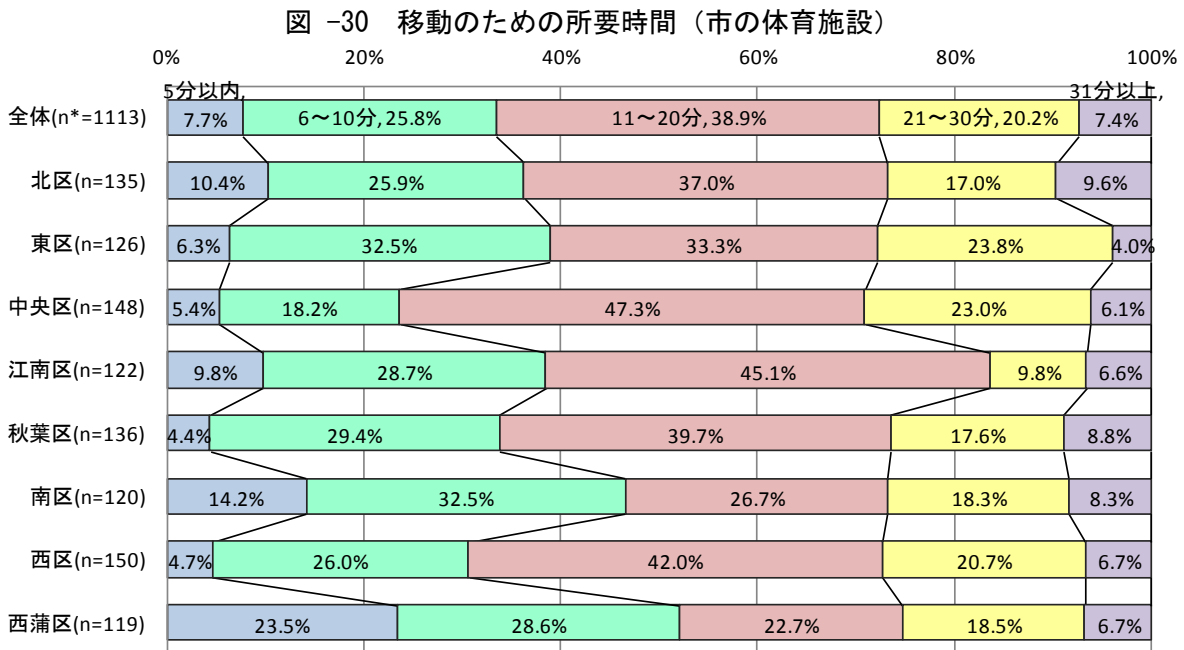


【体育施設】

- ・ 全体では、72.4%が20分以内で施設まで移動すると回答しています。
- ・ 移動時間20分以内の割合が最も高い区は江南区（83.6%）、最も低い区は中央区（70.9%）です。
- ・ 今より遠い場所に移転した場合に施設を使い続けることができる「移動するのに増える時間の上限」では、全体の57.7%が10分超としています。
- ・ 「移動するのに増える時間の上限」について、10分超を上限とした割合が最も高い区は西区（61.9%）で、最も低い区は東区（48.6%）です。
- ・ 今より遠い場所に移転した場合、「使い続けられない」とした割合は全体では10.1%で、最も高い区は南区（13.4%）、最も低い区は北区（6.8%）です。

<設問>（再掲）

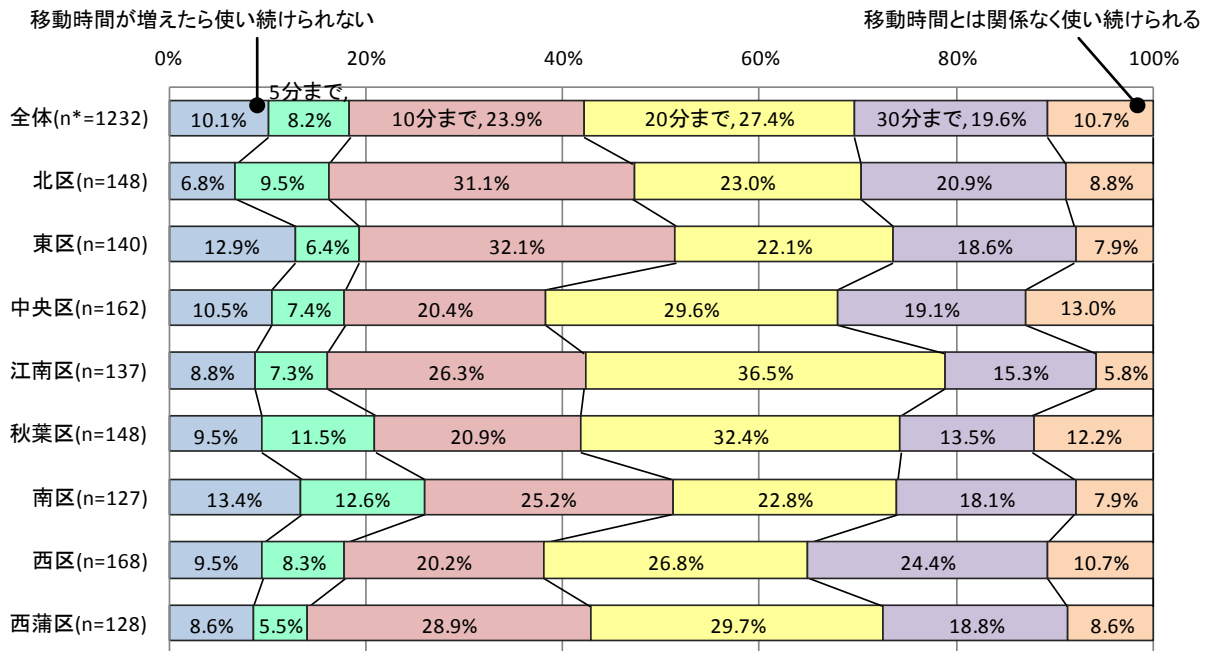
問21-4：この1年間、あなたが運動・スポーツをするために市の体育施設を利用したとき、もっともよく使った交通手段と、移動のための所要時間を教えてください。（〇は1つだけ）



<設問>

問21-5：あなたがこの1年間に使った市の体育施設が、建て替えなどで今より遠くに移転するとした場合、どのくらいの距離までなら、使い続けることができますか。使い続けるために選ぶ交通手段と、所要時間の組み合わせで教えてください。(〇は1つだけ)

図-31 施設移転後の移動所要時間の許容限度(市の体育施設)



1-8 類似施設や類似サービスの利用について

各施設の目的や機能と競合する民間の施設やサービスの利用について、利用経験の有無や利用意向について尋ねた設問です。

【市の図書館・図書室】

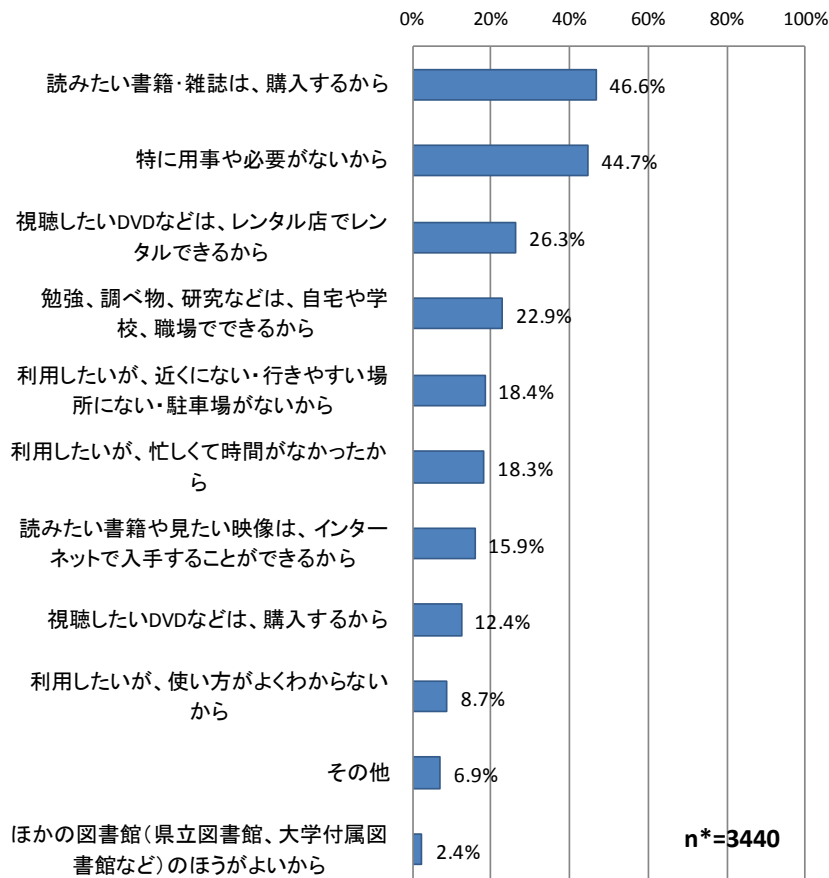
- ・ 市の図書館・図書室を過去1年間使わなかった人に対する「使わなかった理由」として、最も多かったのは「読みたい書籍・雑誌は購入するから」(46.6%)、次いで「特に用事や必要がないから」(44.7%)、「視聴したいDVDなどはレンタル店でレンタルできるから」(26.3%)となっています。
- ・ 利用したいが利用できないという人の利用できない理由の割合では、「近くにない・行きやすい場所がない・駐車場がないから」(18.4%)というアクセスの課題が最も多く、次いで「忙しくて時間がなかったから」(18.3%)、「使い方がよくわからないから」(8.7%)となっています。
- ・ 市の図書館・図書室を過去1年間使わなかった理由として、「ほかの図書館(県立図書館、大学付属図書館)のほうがよいから」と回答した人の割合はそれほど多くありません(2.4%)。

<設問>

問13：あなたが、市の図書館・図書室を利用しない理由を教えてください。

(〇はあてはまるものすべて)

図-32 市の図書館・図書室を利用しない理由(市の図書館・図書室を利用しなかった人のみ)



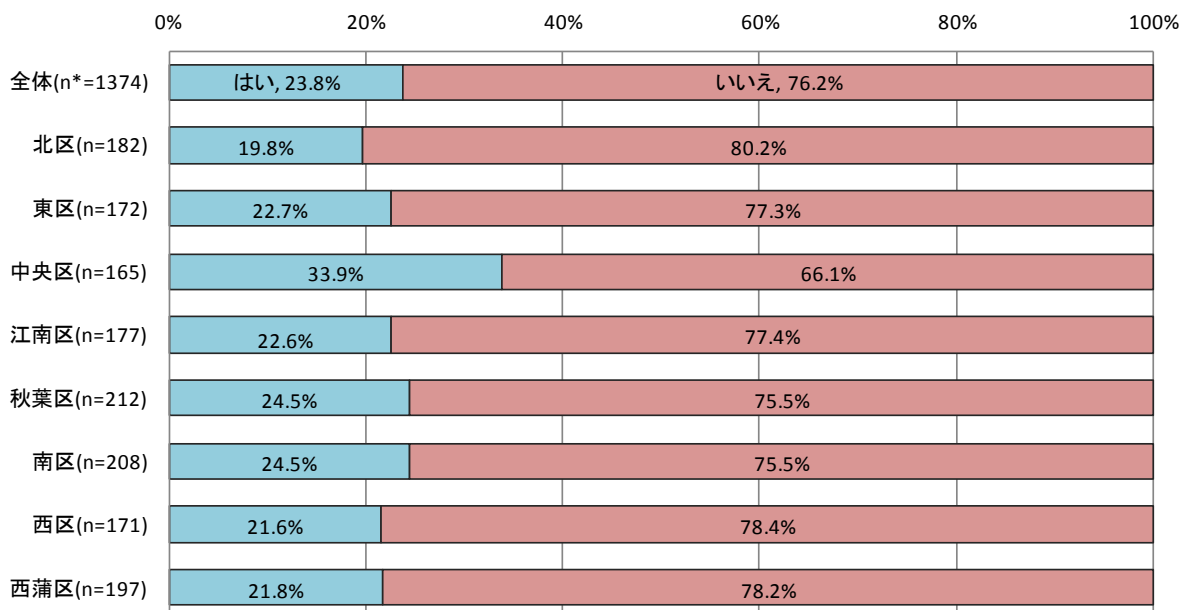
【市の公民館・コミセンなど】

- ・ 過去1年間で、市の公民館・コミセンなどを利用した人のうち、民間の各種講座の受講や民間の貸会議室・貸ホール・音楽スタジオなどを利用した人の割合は、全体では23.8%となっています。区ごとに大きな差はみられませんが、中央区のみ割合は33.9%で、比較的高くなっています。
- ・ 過去1年間で、市の施設と民間の講座・施設の両方を利用した人に対し、その頻度を尋ねた設問で、全体では「民間が多かった」、「市が多かった」双方の割合はほぼ同程度（42.1%と39.0%）でした。区ごとに大きな差はみられませんが、東区は、「民間が多かった」という割合が「市が多かった」とした割合と比べて16.3%程度の差で多くなっています。
- ・ 過去1年間で、市の施設だけを利用した人に対し、民間の講座・施設と市の講座・施設とで、料金など同じ条件で使えるとしたらどちらを選ぶかを尋ねた設問で、全体では「どちらでもよい」とする割合が最も多く、67.9%でした。次いで、「市の施設を選ぶ」（23.7%）、「民間の施設を選ぶ」（8.4%）となっています。この傾向は、区によって大きな差はみられません。
- ・ 過去1年間で、公民館やコミセンの利用目的と重なる活動をしたが公民館やコミセンを利用しなかった人が、活動の際に利用した施設では、「自治会やマンションの集会施設」（27.5%）が最も多く、次いで「企業や学校、各種法人が所有する会議室やホール」（26.9%）、「民間の文化センター・カルチャーセンター」（22.5%）となっています。

＜設問＞

問16-8：この1年間、あなたは、「文化センター」、「カルチャーセンター」などと呼ばれる民間の各種講座や個人教室に参加したり、民間の貸会議室や貸ホール・音楽スタジオなどを使ったりしましたか。
（〇は1つだけ）

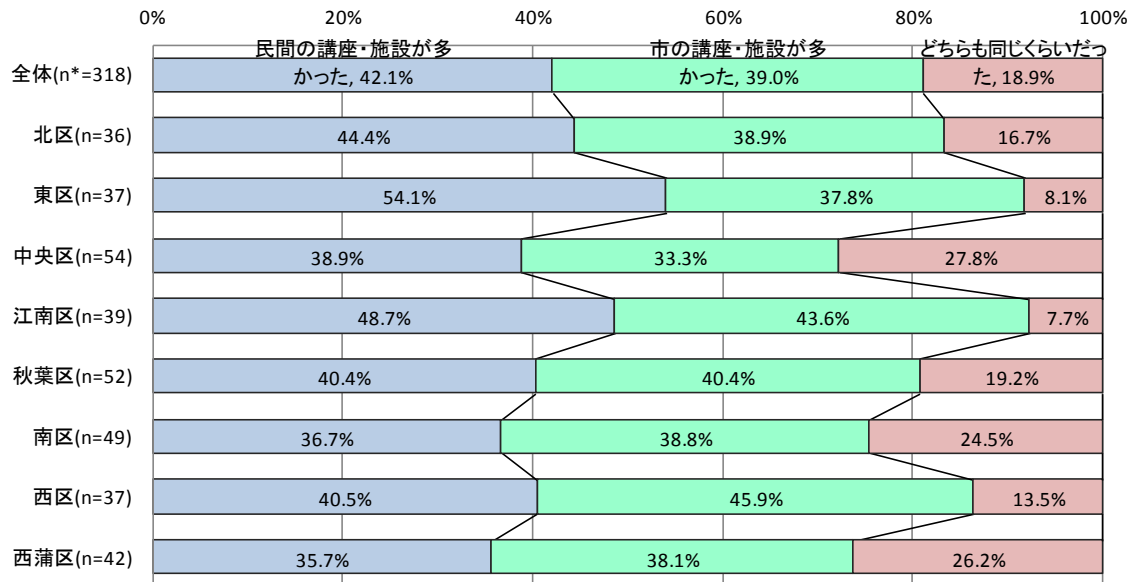
図 -33 民間各種講座・各種施設利用経験の有無（市の公民館・コミセンなどの利用者のみ）



<設問>

問16-9：この1年間、あなたは、問16-8に示したような民間の講座や施設と、市の講座・施設とで、どちらの参加や利用が多かったですか。(〇は1つだけ)

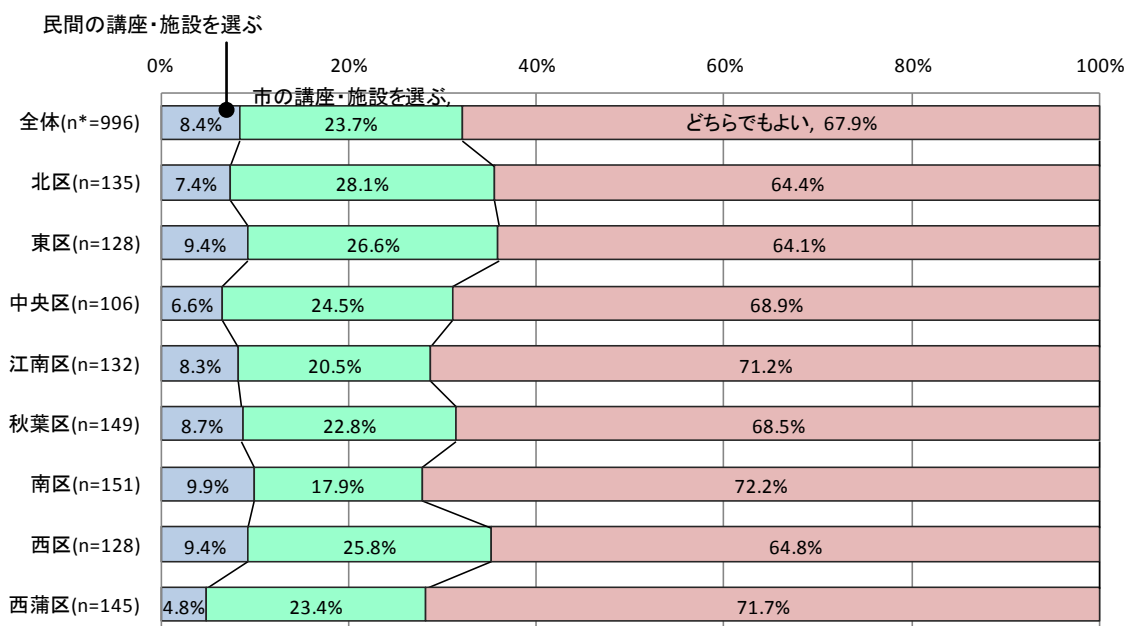
図-34 民間施設と市の施設との利用の多寡(市の公民館・コミセンなど利用者かつ民間施設利用経験ある人のみ)



<設問>

問16-10：あなたは、民間の各種講座・教室や、民間の貸会議室や貸ホール・音楽スタジオなどが、市の講座・施設と同程度の料金で参加したり使えたりするとしたら、どちらを選びますか。(〇は1つだけ)

図-35 民間の講座・貸し会議室と市の施設とのどちらを選ぶか
(市の公民館・コミセンなどの利用者かつ民間講座・施設を利用しなかった人のみ)

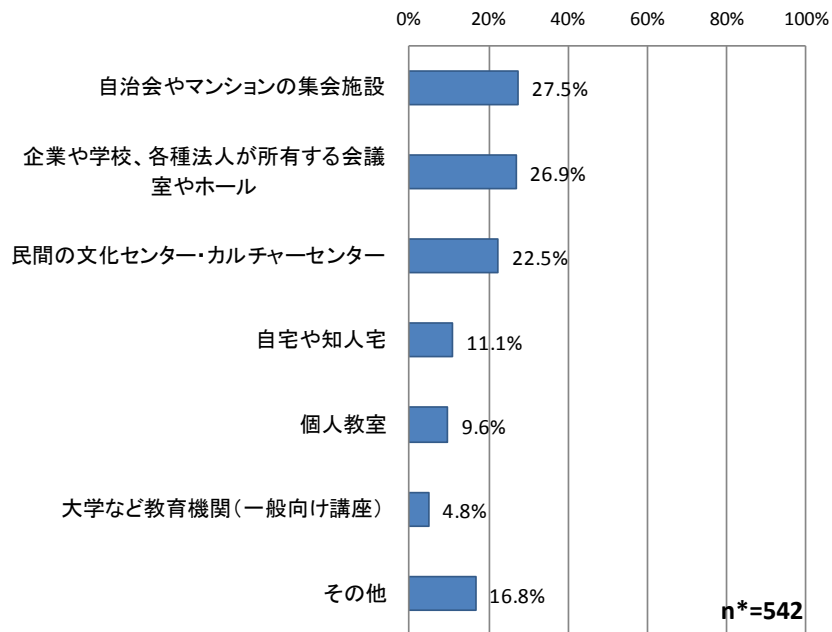


<設問>

問17：あなたが、この1年間に、問14の活動をするときに行った施設とは、どのようなものですか。

(〇はあてはまるものすべて)

図 -36 公民館・コミセンなどの代わりに利用した施設（市の公民館・コミセンなどを利用しなかった人のみ）



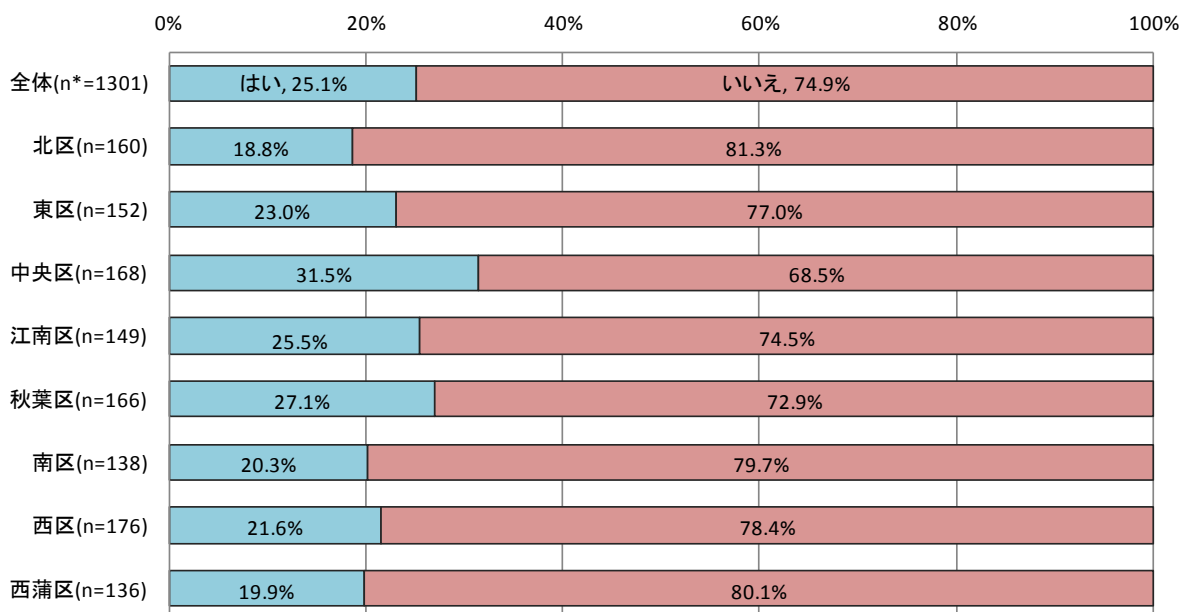
【市の体育施設】

- ・ 過去1年間で、市の体育施設を利用した人のうち、民間の体育施設を利用した人の割合は、全体では25.1%です。
- ・ 区ごとにみると、中央区のみ割合は3割を超えており、比較的高くなっています。
- ・ 過去1年間で、市の施設と民間の施設の両方を利用した人に対し、その頻度を尋ねた設問で、全体では「民間が多かった」、「市が多かった」双方の割合はほぼ同程度（43.3%と38.4%）でした。
- ・ 区ごとにみると、「市の施設が多かった」という割合が比較的高いのは、北区（55.2%）、秋葉区（47.7%）でした。
- ・ 一方で、「民間の施設が多かった」という割合が比較的高いのは、東区（48.6%）、中央区（48.1%）でした。
- ・ 過去1年間で、市の施設だけを利用した人に対し、民間の体育施設と市の施設とで、料金などについて同じ条件で使えるとしたらどちらを選ぶかを尋ねた設問で、全体では「どちらでもよい」とする人の割合が最も多く69.8%でした。次いで、「市の施設を選ぶ」（16.9%）、「民間の施設を選ぶ」（13.3%）となっています。東区のみ「民間の施設を選ぶ」とした割合のほうが「市の施設を選ぶ」とした割合よりも高くなっています（差は1.7%）。
- ・ 過去1年間で、スポーツをしたが市の体育施設を利用しなかった人が、スポーツ活動の際に利用した施設については、「ランニングなど施設を使わない種目なので施設は使わなかった」との回答が最も多く（42.9%）、次いで「ゴルフ場・スキー場」（15.0%）、「民間のスポーツ教室・フィットネスジム・ダンススタジオなど」（11.4%）となっています。

<設問>

問21-7：この1年間、あなたは、民間のスポーツ教室、フィットネスジムやプール、各種コート、道場などの体育施設を使いましたか。（○は1つだけ）

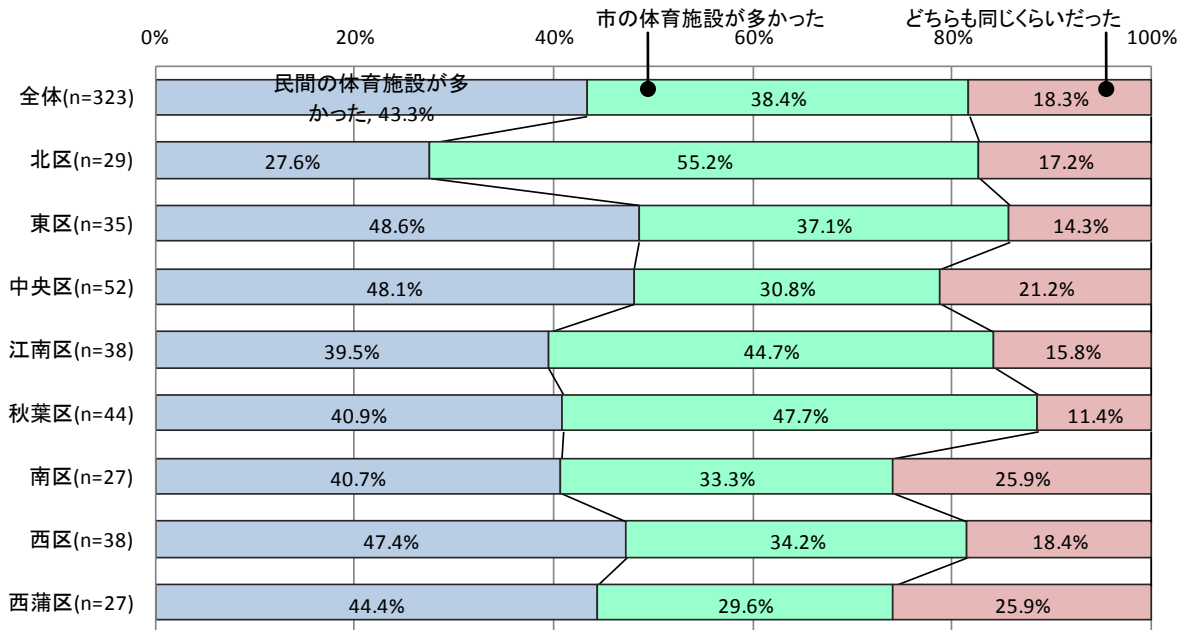
図 -37 民間体育施設利用経験の割合（市の体育施設利用経験ある人のみ）



<設問>

問21-8：この1年間、あなたは、問21-7で示したような民間の体育施設と、同じような施設のある市の体育施設とで、どちらの利用が多かったですか。(〇は1つだけ)

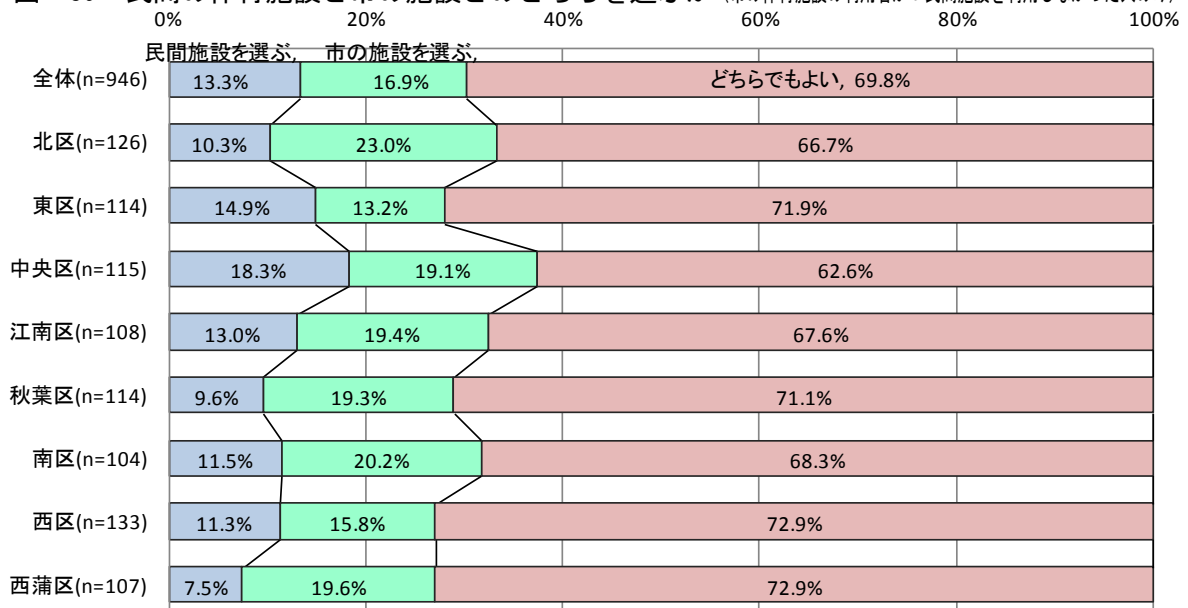
図-38 民間の体育施設と市の体育施設との利用の多寡(市の体育施設利用者かつ民間施設利用経験ある人のみ)



<設問>

問21-9：あなたは、問21-7に示したような民間の体育施設が、市の施設と同程度の料金で使えるとしたら、どちらの施設を選びますか。(〇は1つだけ)

図-39 民間の体育施設と市の施設とのどちらを選ぶか(市の体育施設の利用者かつ民間施設を利用しなかった人のみ)

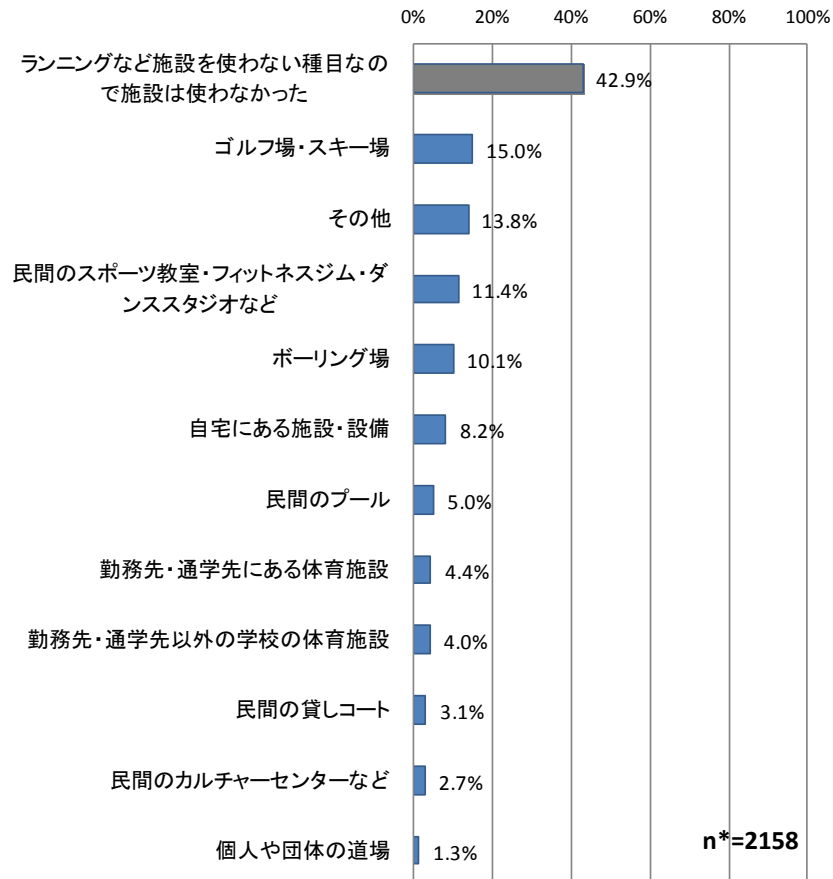


<設問>

問 2 2：あなたが、この 1 年間で運動・スポーツをするために使った施設とは、どのようなものですか。

(〇はあてはまるものすべて)

図 -40 運動のために利用した民間施設(市の体育施設を利用しなかった人のみ)



1-9 施設の適地について

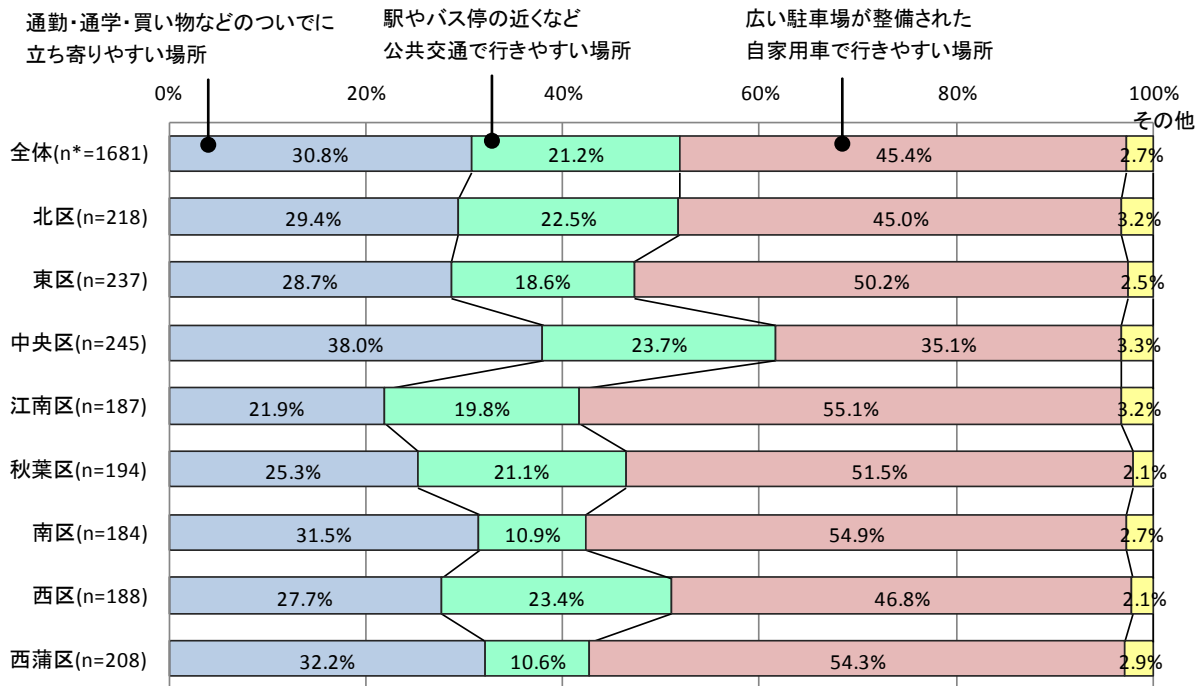
各施設をどのような場所に整備するのが望ましいと考えるかについて尋ねた設問です。

- 各施設とも、全体では、「広い駐車場が整備された自家用車で行きやすい場所」の割合が最も高くなっています。
- 【市の図書館・図書室】**
 - 区ごとにみると、中央区のみ、「外出のついでに立ち寄りやすい場所」(38.0%)が、「自家用車で行きやすい場所」(35.1%)を上回っています。
- 【市の公民館・コミセンなど】**
 - 区ごとにみると、中央区のみ、「外出のついでに立ち寄りやすい場所」(24.2%)と「公共交通で行きやすい場所」(33.9%)の合計が、「自家用車で行きやすい場所」(39.4%)を上回っています。
- 【市の体育施設】**
 - 「図書館・図書室」、「公民館・コミセンなど」と異なり、区ごとに大きな差はみられませんが、「自家用車で行きやすい場所」の割合が、西蒲区(76.9%)と江南区(76.4%)で比較的高くなっています。

<設問>

問12-5：市の図書館・図書室はどのような場所に設置するのが適切だと思いますか。(〇は1つだけ)

図-41 市の図書館・図書室をどのような場所に設置すべきか(「利用経験あり」の人のみ)

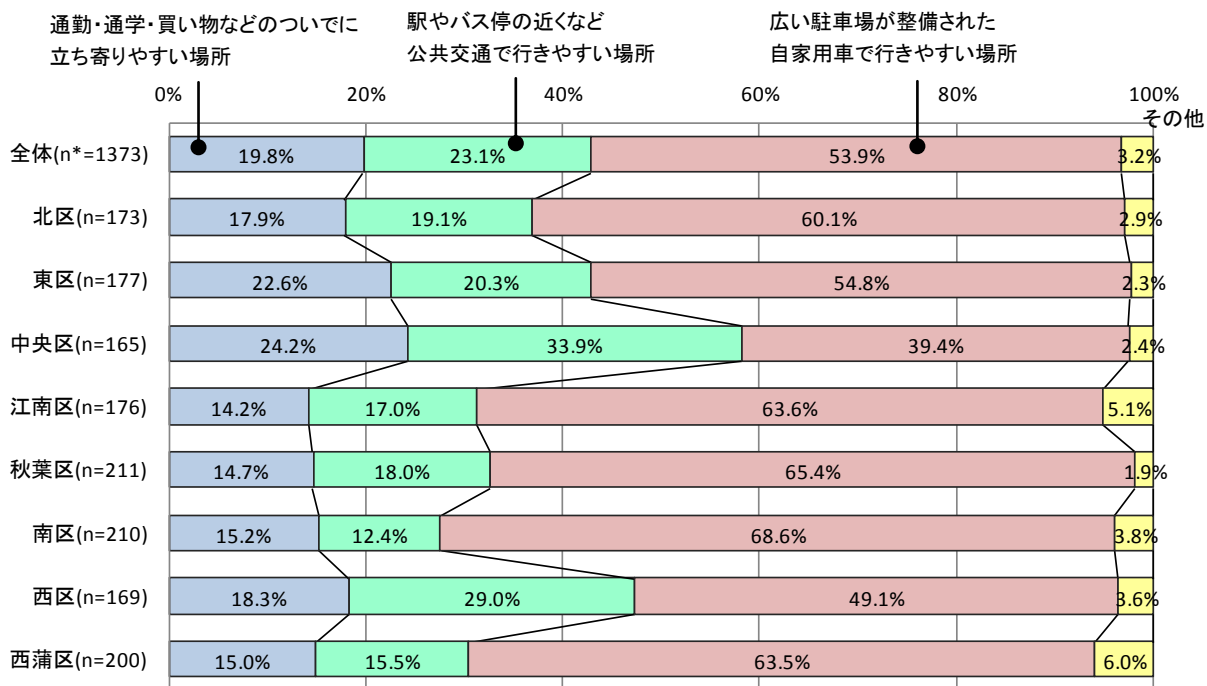


<設問>

問16-7：市の公民館・コミセンなどは、どのような場所に設置するのが適切だと思いますか。

(○は1つだけ)

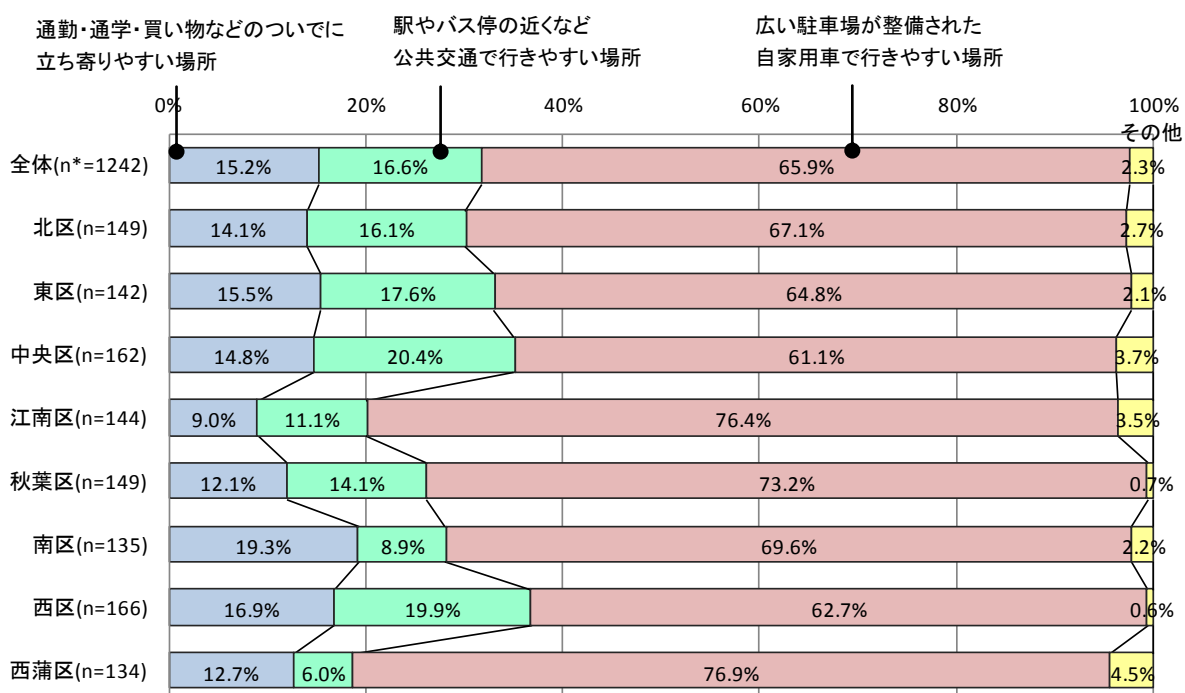
図-42 市の公民館・コミセンなどをどのような場所に設置すべきか(「利用経験あり」の人のみ)



<設問>

問21-6：市の体育施設は、どのような場所に設置するのが適切だと思いますか。(○は1つだけ)

図-43 市の体育施設をどのような場所に設置すべきか(「利用経験あり」の人のみ)



1-10 その他（1）市民が利用する図書館を学校に整備することの是非について

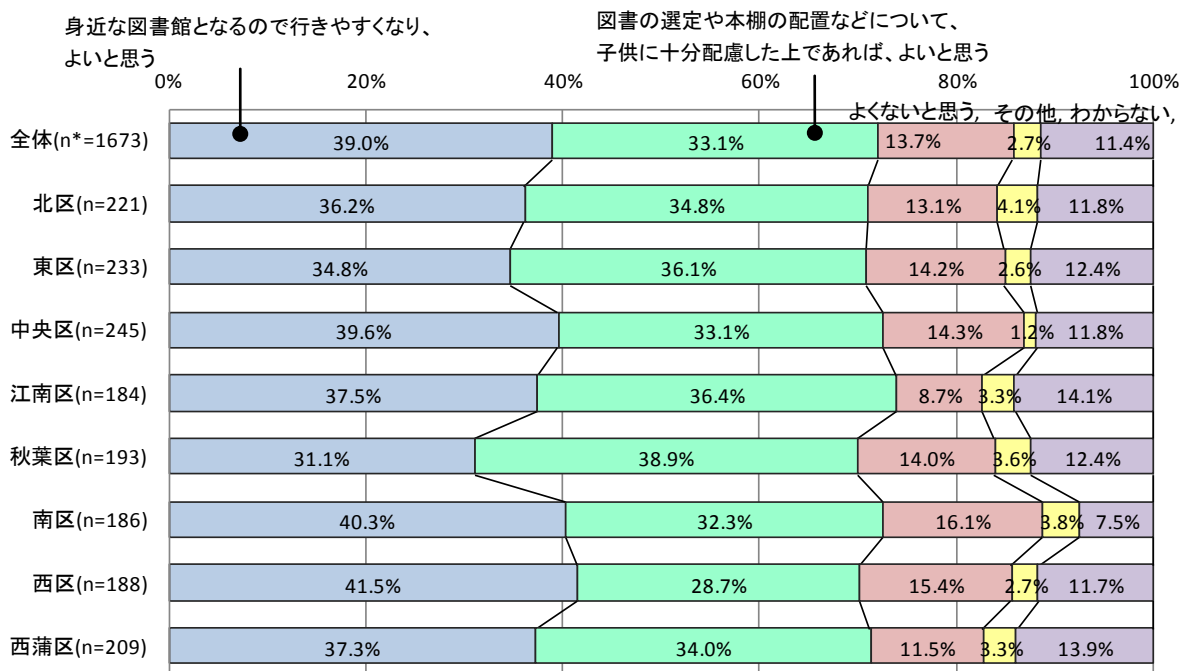
施設複合化の先進事例として、学校に一般市民も利用可能な図書館を併設する事例があります。こうした複合化について賛否を問う設問です。

- ・ 「よいと思う」「(子どもへの配慮をするという前提であれば) よいと思う」とした回答が72.1%となっています。
- ・ 「よくないと思う」と回答した理由（自由記載）の主なものは、「安全上の不安がある」、「学校の管理運営に負担が大きい」、「駐車場の確保が難しい」というものでした。
- ・ 区によって回答の割合に大きな差はありません。

<設問>

問12-6：新潟県内には、学校の校舎内に一般市民が利用できる図書館を整備している自治体もあります。児童・生徒の安全確保が前提ですが、このような活用方法をどう思いますか。（○は1つだけ）

図-44 市民が利用する図書館を学校に整備することの是非（「図書館・図書室の利用経験あり」の人のみ）



1-11 その他（２）利用率（平均３５％）を踏まえ、今後、公民館・コミセンなどはどうあるべきか

公民館と各種コミュニティ施設が利用者へ提供している「市民のさまざまな活動の拠点（貸し館）」としての機能を、さらに利用してもらえるようにするには何が有効と考えるかを尋ねた設問です。

※（公民館の）利用率平均約 35% --- 平成 25 年度財産白書より

- ・ 全体では、「ひとつの建物にさまざまな機能を持たせて、便利にする【多機能化】」の割合がもっとも大きく（55.5%）、次いで「興味のわくような講座や催しを開催し、より多くの人に使ってもらえるようにする【事業の工夫】」（43.5%）、「公共交通で行きやすくして、車を運転しない人にも利用しやすくする【交通利便性向上】」（37.8%）となっています。
- ・ 利用したときの立場で見ると、次のようになっています。
 - 【主催者の立場】
「団体登録見直し」、「申し込み手続き改善」を、他の立場の回答者よりも重視する傾向。
 - 【参加者の立場】
「事業の工夫」を、他の立場の回答者よりも重視する傾向。
 - 【参加者・主催者どちらの立場もあり】
「交通利便性向上」、「施設統合」を、他の立場の回答者よりも重視する傾向
- ・ 「その他」の理由（自由記載）の主なものは、「駐車場を増やす」、「よくわからない・知られていないので PR に工夫する」、「(さまざまな) 利用条件を緩和する」、「飲食できる店舗やスペースを設ける」というものでした。

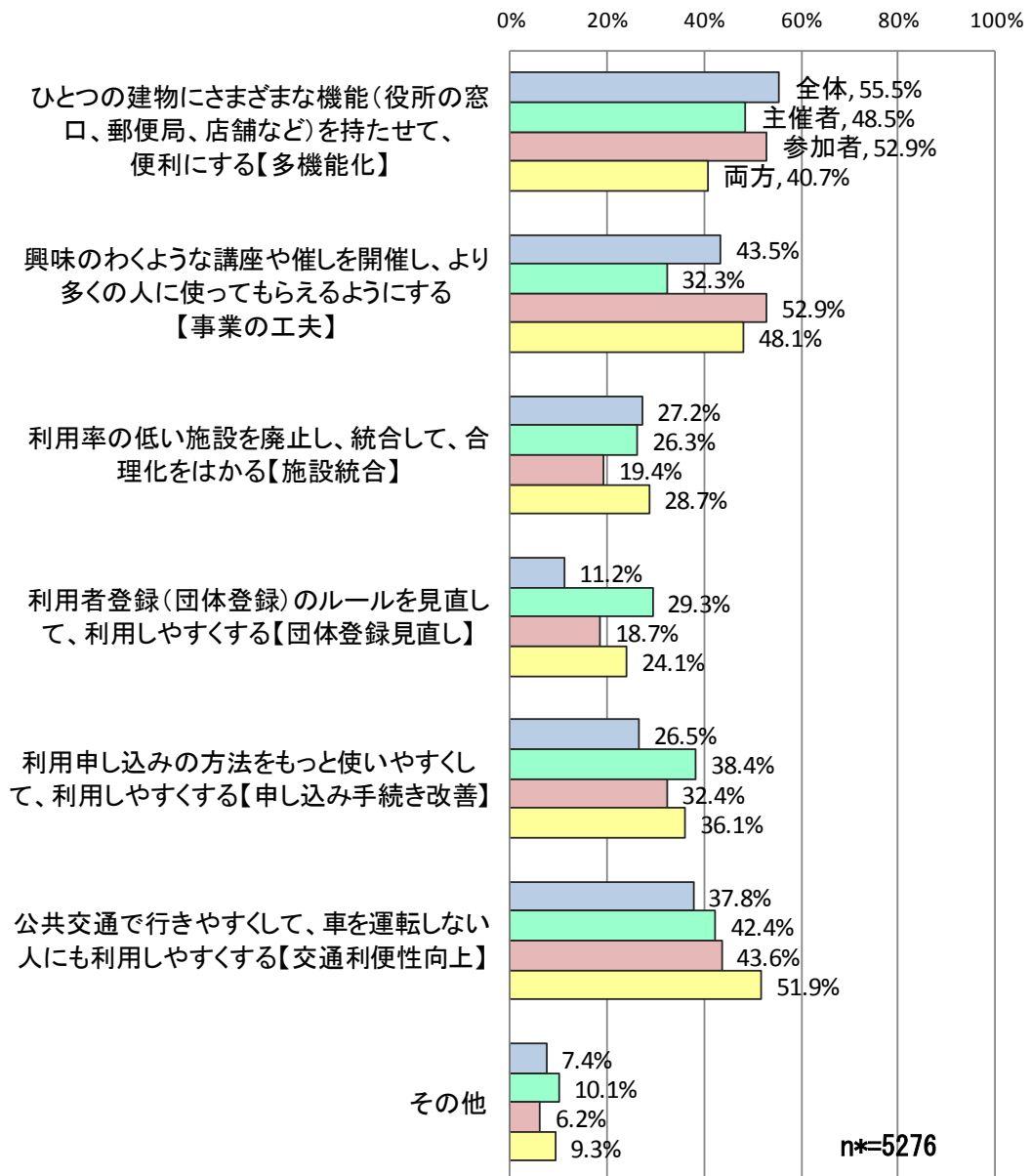
<設問>

問18：市の公民館・コミセンなどの利用率は、平均で約35パーセントです。
現状をふまえ、施設を今後どのようにしたらよいと考えますか。（〇は3つまで）

<選択肢>

1. ひとつの建物にさまざまな機能（役所の窓口、郵便局、店舗など）を持たせて、便利にする
2. 興味のわくような講座や催しを開催し、より多くの人に使ってもらえるようにする
3. 利用率の低い施設を廃止し、統合して、合理化をはかる
4. 利用者登録（団体登録）のルールを見直して、利用しやすくする
5. 利用申し込みの方法をもっと使いやすくして、利用しやすくする
6. 公共交通で行きやすくして、車を運転しない人にも利用しやすくする
7. その他

図 -45 利用率（約 35%）を踏まえ、今後、施設はどうあるべきか（すべての人が対象）



1-12 公共施設マネジメントのあり方について

人口減少と少子・超高齢化、市が現在保有する公共施設面積や施設老朽化と、それに伴う更新費用の不足という、公共施設をとりまく現状を踏まえた上で、今後、公共施設をどのように維持・活用していくべきと考えるかを尋ねた設問です。

- ・ 「多機能化・複合化」は88.3%が支持、「利用率の低い施設の売却・貸付」は83.0%が支持、「民間施設によるサービス代替」は73.6%が支持となっています。
- ・ 料金の見直しにより施設を維持することについては、支持は35.4%にとどまっています。
- ・ 「(他の予算を削ってでも)現状維持すべき」を支持する回答は、17.8%にとどまっています。

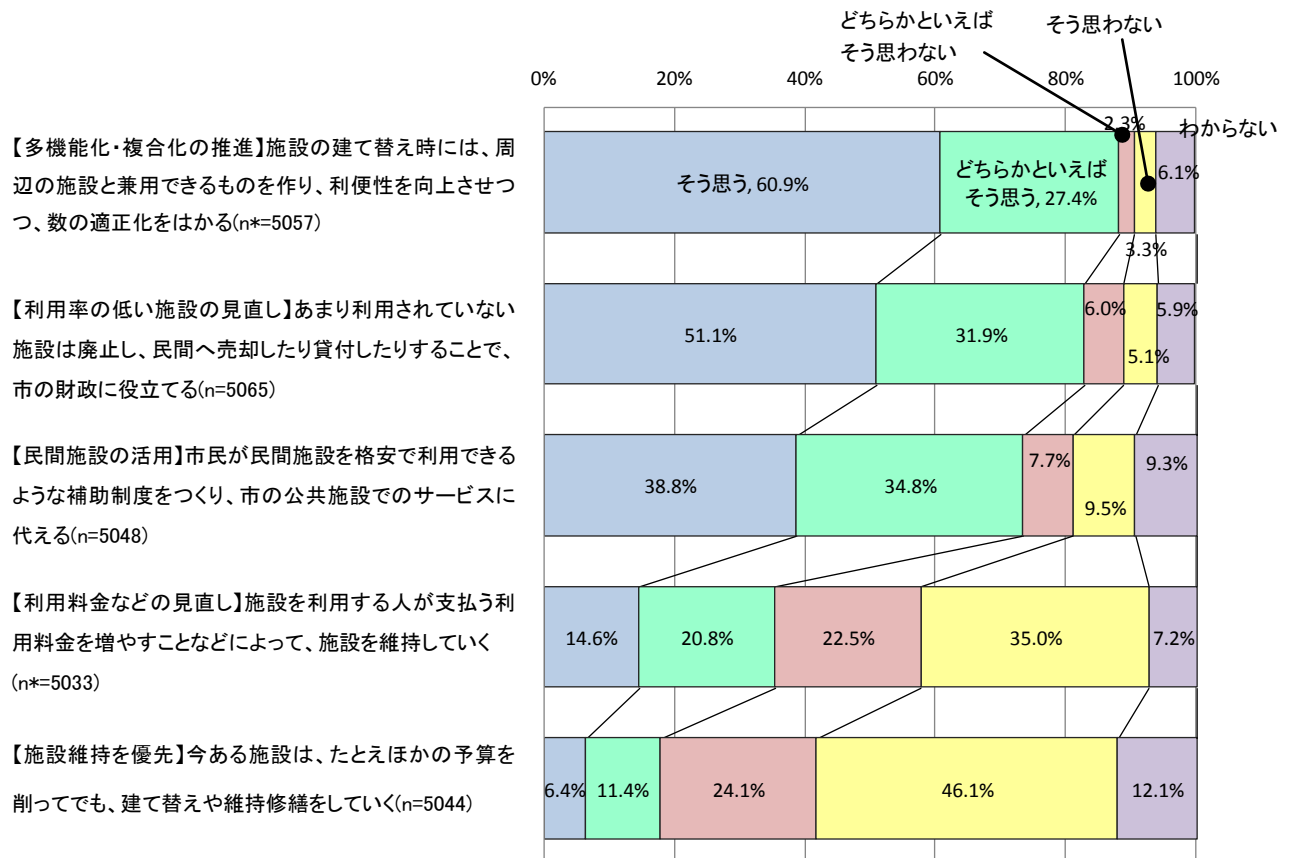
<設問>

問23：新潟市の人口は、現在の約81万人から、平成52年には約67万人となり約18%減少すると予測されています。うち、15歳未満人口は約4割が減少、15歳から64歳の人口は約3割が減少し、一方で、65歳以上の高齢者は約3割の増加が見込まれています。

市の公共施設面積(市営住宅を除く)は、市民1人あたりで政令指定都市の中で最大となっています。これら施設は、今後、老朽化により建て替え時期を迎えますが、全ての施設を建て替えるには大幅に費用が不足する見通しです(新潟市「財産白書」より)。

こうした現状をふまえ、市の公共施設を維持していくために、今後どのように取り組んでいくべきだと思いますか。各項目について、あなたの考えにもっとも近いものを番号で選んでください。(各項目とも、○は1つだけ)

図-46 公共施設維持のための今後の取り組みについて(すべての人が対象)



2. 公共施設利用者アンケート（公民館）

2-1 施設利用と公民館利用登録の状況

公民館の利用団体登録の有無と、施設の利用年数を尋ねた設問の回答から、

- ・ 利用者（団体）の構成割合（公民館利用登録の有無など）
- ・ 利用者（団体）の別と施設利用年数

の状況を集計したものです。

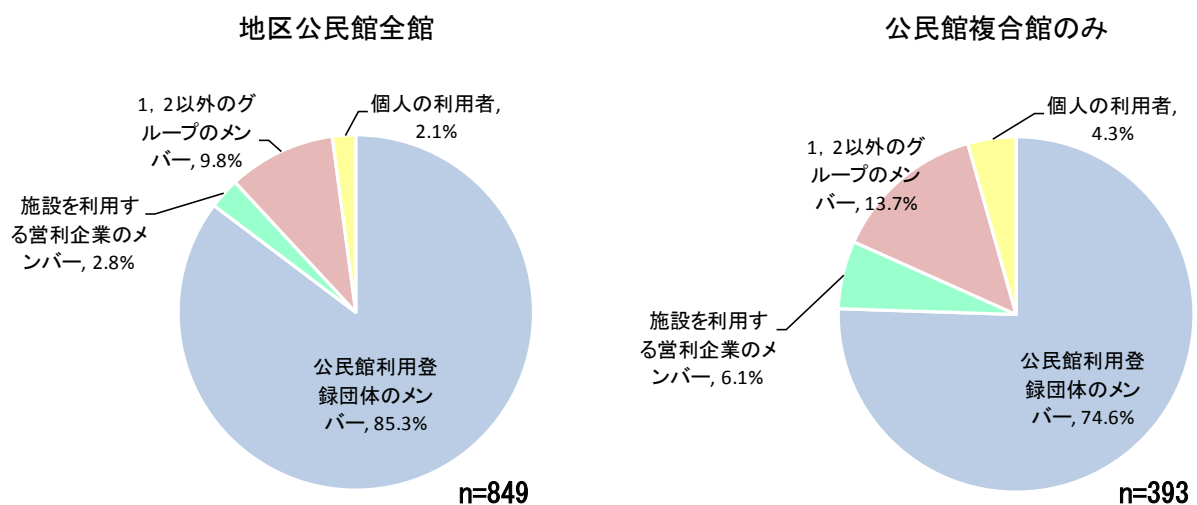
- ・ 地区公民館全体（市民会館等との複合館含む）の回答者のうち、公民館利用登録団体は 85.3% でした。うち、生涯学習施設や市民会館と機能を兼ねた館（7 館）および同じ建物の中に市民会館を備えた館（2 館）の回答者に限定すると、公民館利用登録団体は 74.6% でした。
- ・ 施設利用年数をみると、すべての利用年数区分で公民館利用登録団体の割合が高くなっていきますが、特に「10 年以上」の区分に占める割合が高く（93.5%）なっています。
- ・ 絶対数でみると、施設利用年数が「10 年以上」かつ「公民館利用登録団体」が最大であり、全回答者の約 4 割を占めています。

<設問>

問 1：施設利用者のあなたは、つぎのうちのどれにあてはまりますか。

1. 公民館利用登録団体のメンバー
2. 施設を利用する営利企業のメンバー
3. 1, 2 以外のグループのメンバー
4. 個人の利用者

図 -47 利用者の別の状況



<設問>

問2：この施設を利用し始めてからどのくらいになりますか。

図 -48 利用者の別と施設利用年数の状況（割合）

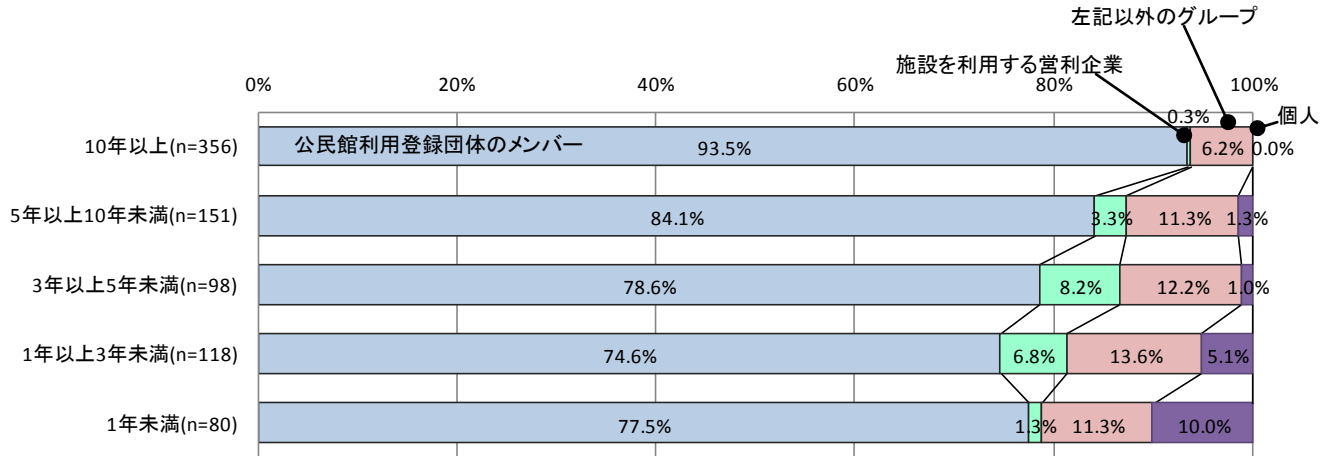
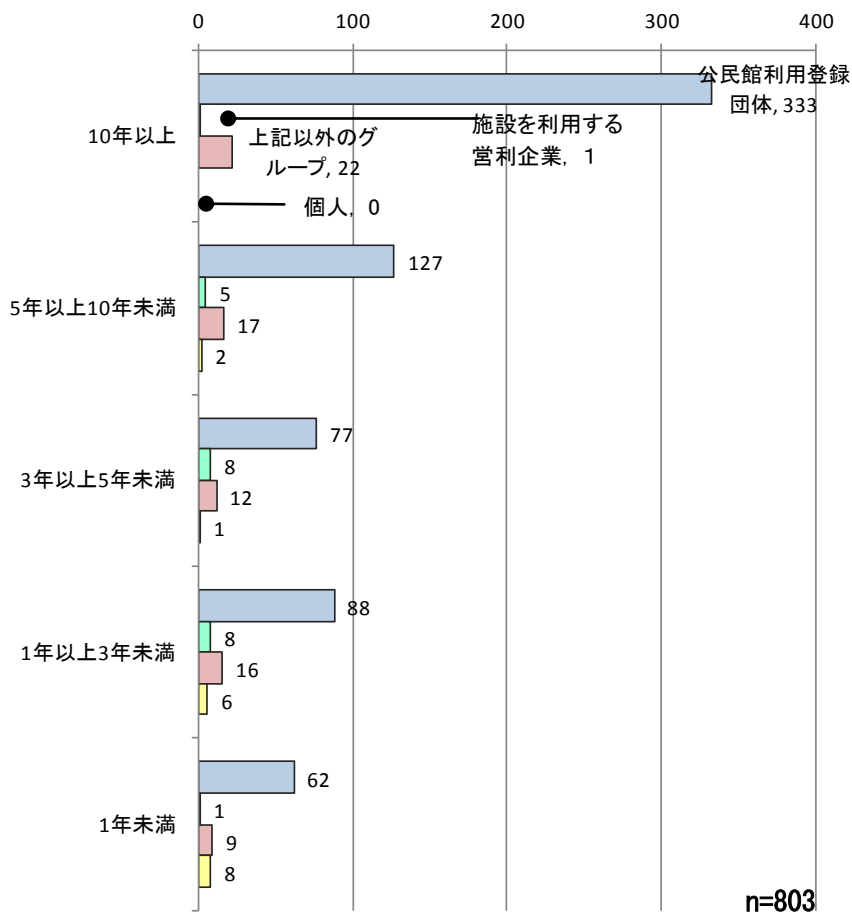


図 -49 利用者の別と施設利用年数の状況（実数）



2-2 利用頻度

- ・ 全体では、月に2回以上の利用が75.0%となっています。
- ・ 公民館利用登録団体の利用頻度が比較的高く（「月に2回以上」が79.6%）となっています。
- ・ 利用頻度別にみると、すべての頻度で公民館利用登録団体の割合が最も高くなっていますが、頻度が低くなるにつれ、公民館利用登録団体の割合も低くなります。

<設問>

問3：この施設を利用する頻度はどのくらいですか。最近1年間の活動の状況としてお答えください。
（〇は1つだけ）

図-50 利用者の別からみた利用頻度

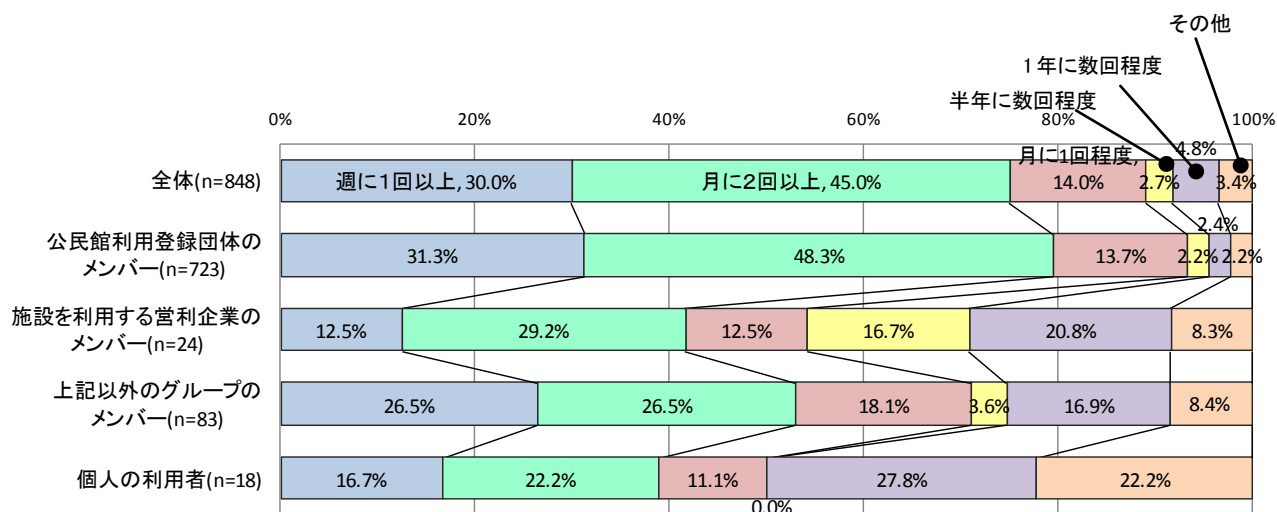
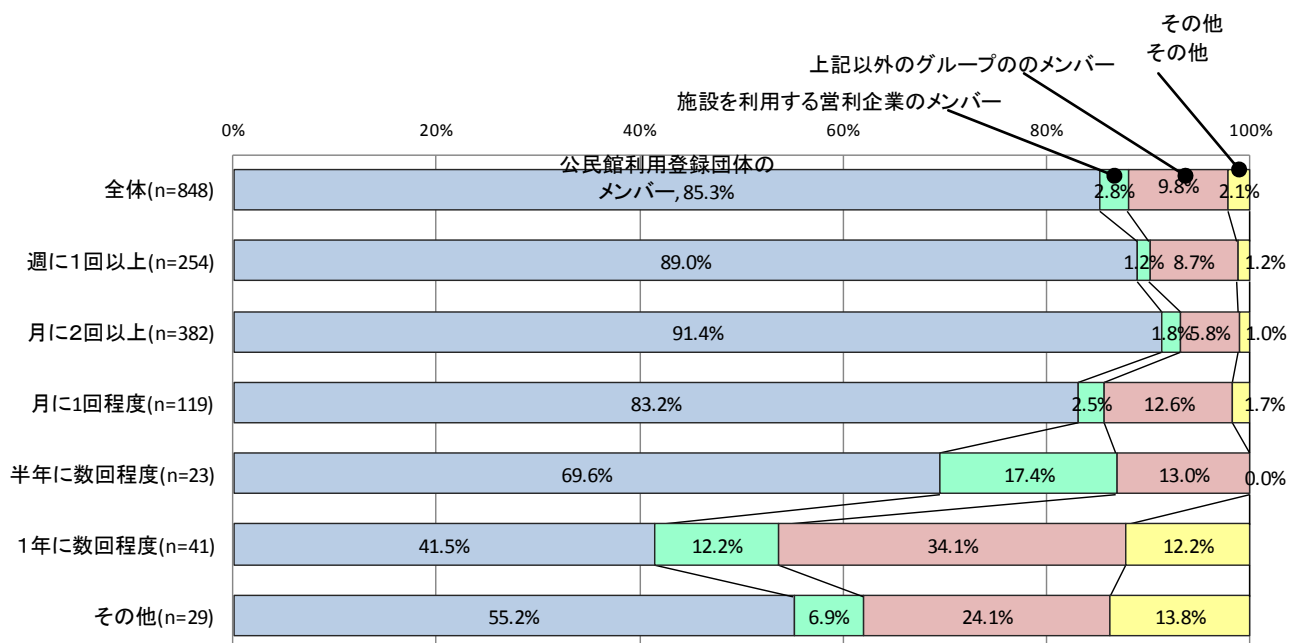


図-51 利用頻度からみた利用者の別



2-3 ほかの活動場所の有無

- ・ 全体の 32.2%が「ある」としています。
- ・ 施設利用年数ごとにみると、施設利用を「10年以上」とした回答者が「ある」と回答した割合は 20.0%にとどまっています。
- ・ 利用者の別でみると、「ある」と回答した公民館利用登録団体の割合は 29.4%となっており、他の利用者と比較して低くなっています。

<設問>

問4：この施設のほかに活動場所はありますか。

図 -52 ほかの活動場所の有無と施設利用年数の状況（利用年数別）

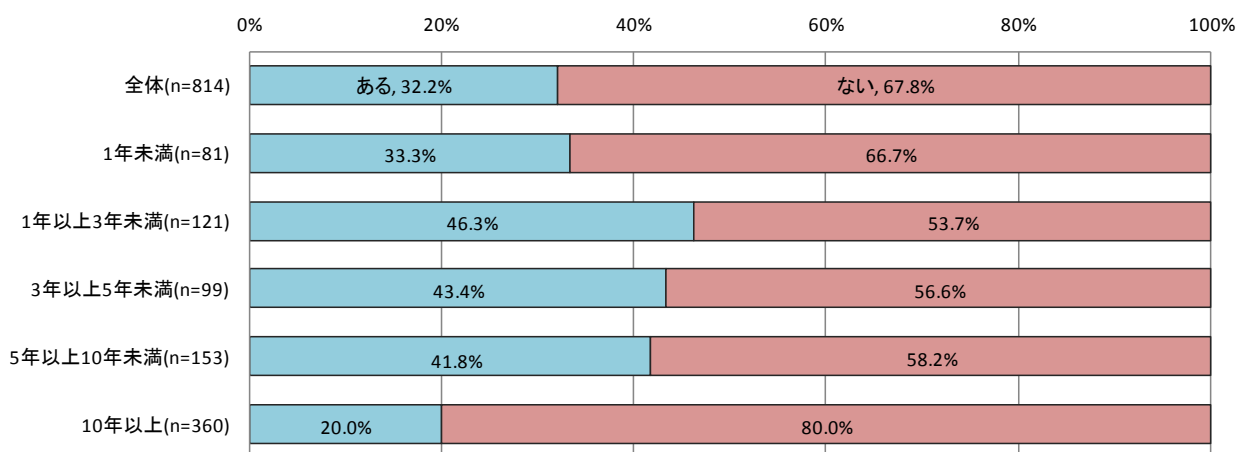
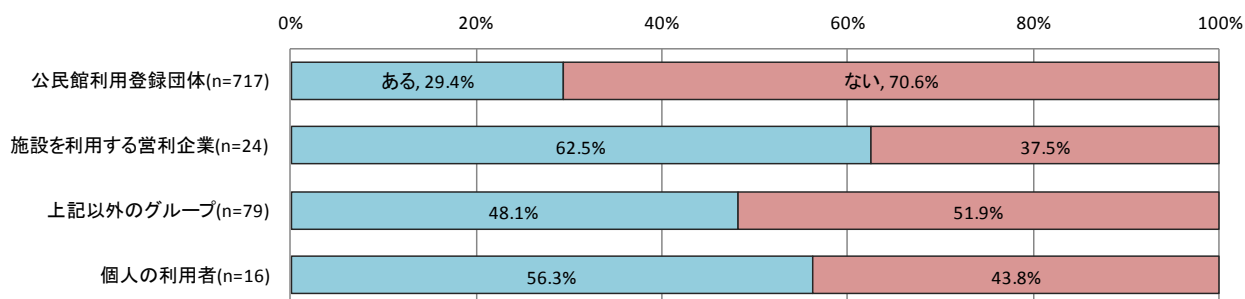


図 -53 ほかの活動場所の有無と利用者の別の状況（利用者の別）



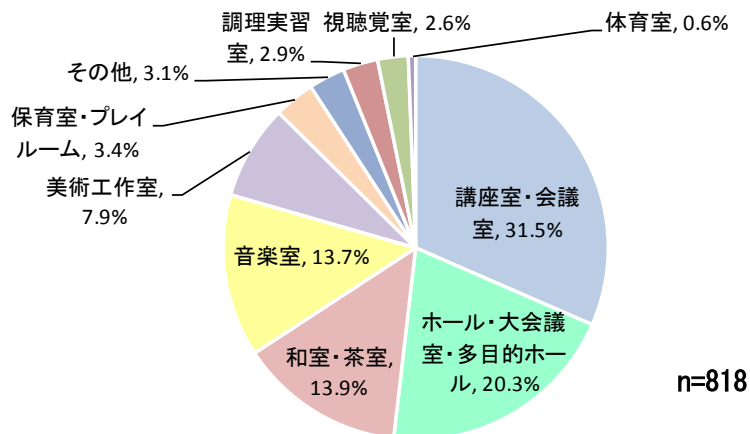
2-4 部屋タイプと利用目的

- ・ 「よく使われる部屋のタイプ (択一)」として最も割合が高いのは「講座室・会議室」(31.5%)であり、次いで、「ホール・大会議室・多目的ホール」(20.3%)、和室(13.9%)、「音楽室」(13.7%)、となっています。
- ・ 施設での主な活動として最も割合が高いのは、「体を動かす活動」(24.8%)であり、次いで「実技を伴う活動(書道、生け花など)」(18.1%)、「楽器の演奏」(13.0%)、「講義・研究・文芸・語学」(11.4%)となっています。

<設問>

問5：この施設でよく使う部屋のタイプとしてもっともあてはまるものを一つ選んでください。
(○は1つだけ)

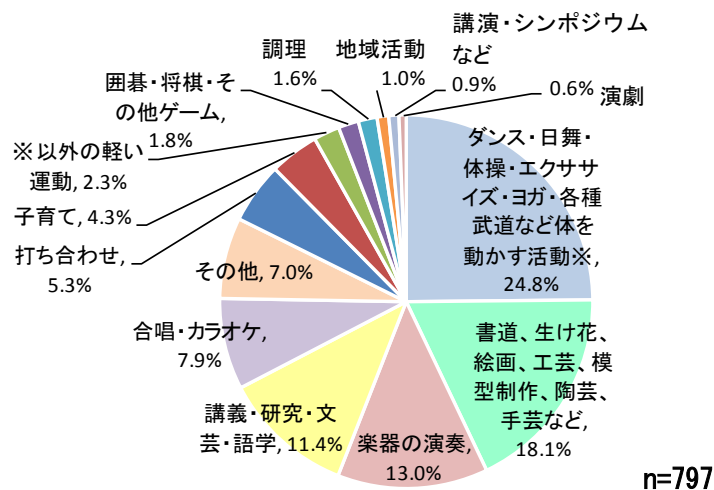
図 -54 よく使う部屋タイプ



<設問>

問6：この施設で行う活動にもっともあてはまるものを一つ選んでください。(○は1つだけ)

図 -55 活動の種類



2-5 部屋タイプと利用目的の関係

各部屋がどのような活動目的に使われているかの状況を集計したものです。

- ・ 部屋タイプ別に利用目的を集計すると、次のことがわかりました。
 - 体を動かす活動にはさまざまなタイプの部屋が利用されているが、特にホール・大会議室・多目的ホールと和室・茶室の利用目的として、最も割合が高くなっている。
 - 特定の活動を想定して整備された部屋については、特に音楽室、美術工作室において特定の活動の割合が高いものの、その他の目的での利用実績もみられる。

表 1 部屋タイプと利用目的の関係（多用途の利用が想定できるタイプの部屋）

	打ち合わせ	講義・研究・文芸・語学	講演・シンポジウムなど	ダンス・日舞・体操・各種武道※	※以外の軽い運動	楽器の演奏	合唱・カラオケ	演劇	調理	囲碁・将棋・その他ゲーム	実技を伴う活動各種	地域活動	子育て	その他
講座室・会議室 (n=258)	13.2%	28.7%	1.9%	7.4%	1.2%	6.2%	4.3%	0.0%	0.0%	1.9%	22.9%	1.9%	0.0%	10.5%
和室・茶室(n=114)	7.0%	3.5%	0.0%	29.8%	1.8%	3.5%	0.0%	0.9%	0.0%	7.9%	21.9%	0.0%	12.3%	11.4%
ホール・大会議室・多目的ホール(n=166)	1.2%	0.0%	1.2%	71.7%	5.4%	4.8%	5.4%	1.8%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	3.6%	2.4%
保育室・プレイルーム (n=28)	0.0%	3.6%	0.0%	42.9%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.4%	3.6%

表 2 部屋タイプと利用目的の関係（特定の活動用のタイプの部屋）

	打ち合わせ	講義・研究・文芸・語学	講演・シンポジウムなど	ダンス・日舞・体操・各種武道※	※以外の軽い運動	楽器の演奏	合唱・カラオケ	演劇	調理	囲碁・将棋・その他ゲーム	実技を伴う活動各種	地域活動	子育て	その他
調理実習室(n=24)	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	8.3%	0.0%	62.5%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
音楽室(n=112)	0.0%	0.9%	0.0%	5.4%	0.0%	58.9%	32.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%
美術工作室(n=65)	1.5%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	6.2%
視聴覚室(n=21)	4.8%	9.5%	4.8%	28.6%	4.8%	14.3%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

※「その他 (n=25)」および「体育室 (n=5)」を除く

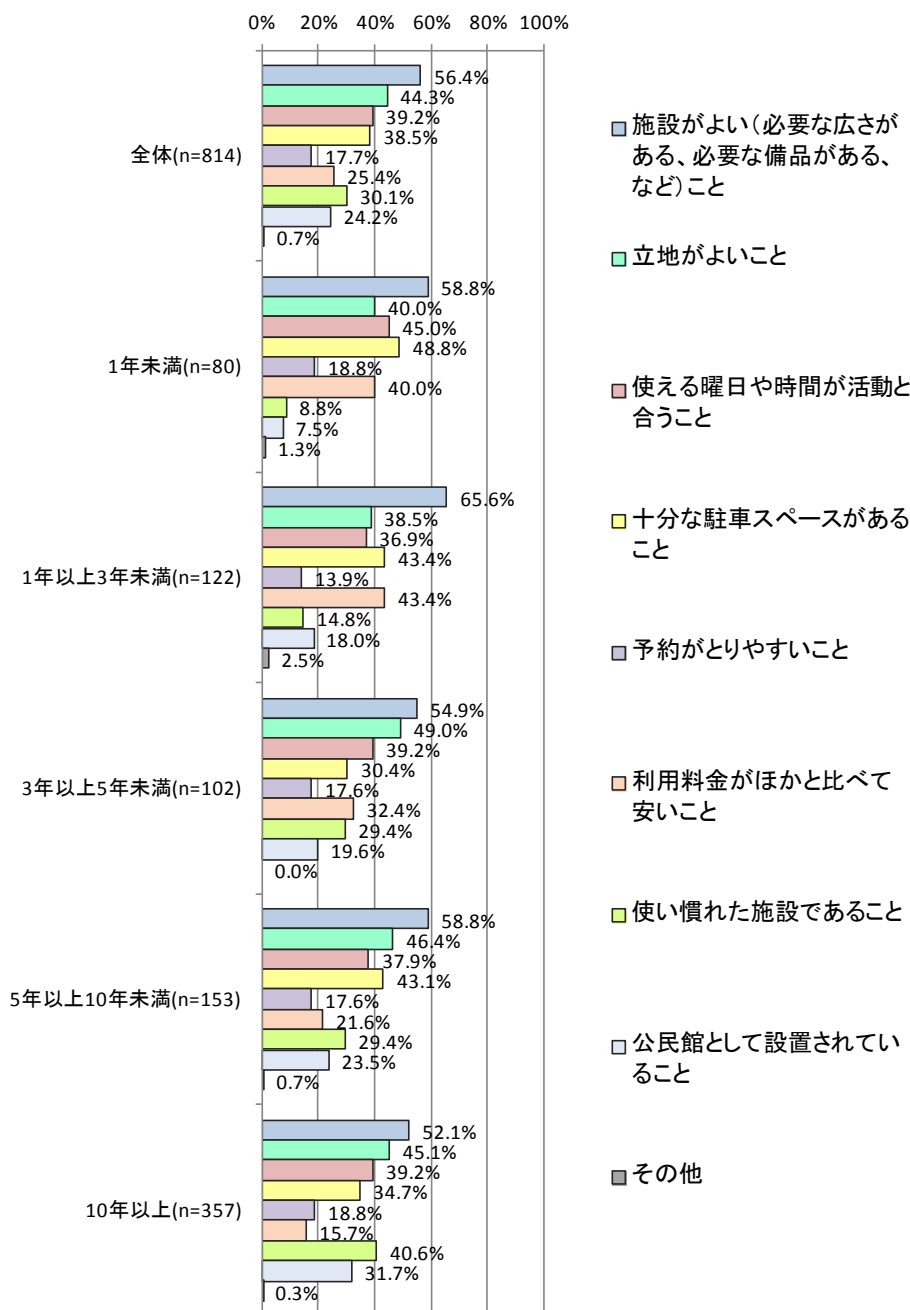
2-6 施設を選ぶときに重要視すること

- ・ 全体では、「施設がよいこと」(56.4%)、「立地がよいこと」(44.3%)、「使える曜日や時間が活動と合うこと」(39.2%)の割合が比較的高くなっています。
- ・ 施設利用年数ごとにみると、施設利用を「10年以上」とした回答者では、「利用料金がほかと比べて安いこと」の割合が比較的低く(15.7%)、「使い慣れた施設であること」(40.6%)、「公民館として設置されていること」(31.7%)の割合が比較的高くなっています。

<設問>

問7：施設を選ぶときに、重要視することは何ですか。(〇は3つまで)

図 -56 施設を選ぶときに重要視すること



2-7 施設への移動手段と利用者の居住する区の関係

比較的回答が多かった「中央公民館」、「亀田地区公民館」、「小針青山公民館」、「黒埼地区公民館」の4館について集計したところ、次のような結果となりました。

【中央公民館】

- ・ 自家用車での移動の割合が4つの館の中で最も低い(29.7%)。
- ・ 徒歩・自転車および公共交通での来館者の割合が4つの館の中で最も高い(43.7%, 25.9%)。
- ・ 館立地区(中央区)内からの来館者の移動では、自家用車の割合が4つの館の中で最も低い(24.8%)。
- ・ 館立地区外からの来館者の割合は30.8%。

【亀田地区公民館】

- ・ 自家用車での移動の割合は89.6%。
- ・ 徒歩・自転車での来館者の割合が4つの館の中で最も低い(6.5%)。
- ・ 館立地区(江南区)内からの来館者の移動では、84.5%が自家用車。
- ・ 館立地区外からの来館者の割合は47.4%で、4つの館の中で最も高い。

【小針青山公民館】

- ・ 自家用車での移動の割合は70.8%。
- ・ 館立地区(西区)内からの来館者の移動では、69.2%が自家用車。
- ・ 館立地区外からの来館者の割合は15.5%で、4つの館の中で最も低い。

【黒埼地区公民館】

- ・ 自家用車での移動の割合は4つの館の中で最も高い(91.6%)。
- ・ 公共交通での来館者の割合が4つの館の中で最も低い(0.3%)。
- ・ 館立地区(西区)内からの来館者の移動では、自家用車での割合が4つの館の中で最も高い(86.6%)。
- ・ 館立地区外からの来館者の割合は44.3%。

<設問>

問8：本日の参加者の、居住地と、施設までの交通手段ごとの数をお答えください。

【居住地】北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区、西蒲区、新潟市外

【交通手段】「徒歩・自転車」、「公共交通（バス・鉄道）」、「自家用車（自分で運転）」、「自家用車（送迎・相乗り）」、「タクシー」

※「居住地」と「交通手段」のマトリクスに人数の数字を記載。各グラフのn値は回答欄記載の人数。

図 -57 利用者の交通手段（利用者全体の状況）

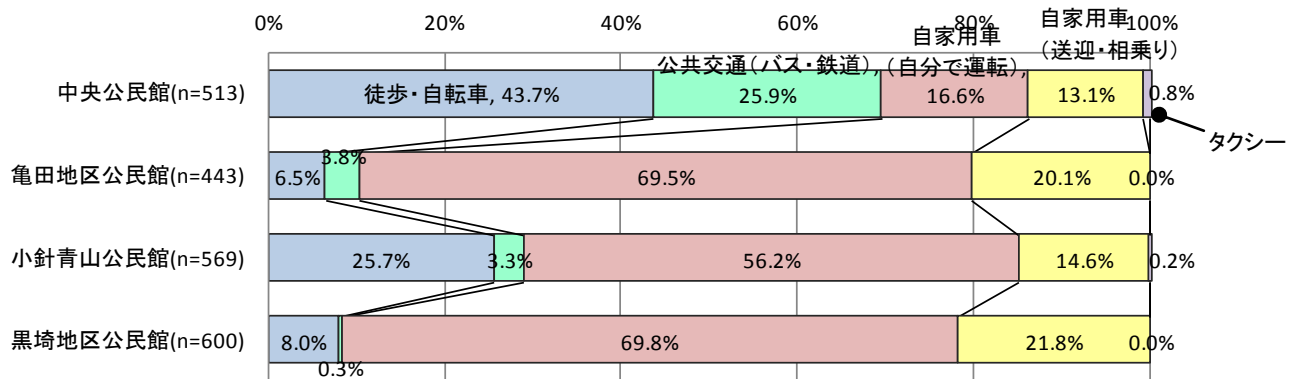


図 -58 利用者の交通手段（館立区内からの利用者の状況）

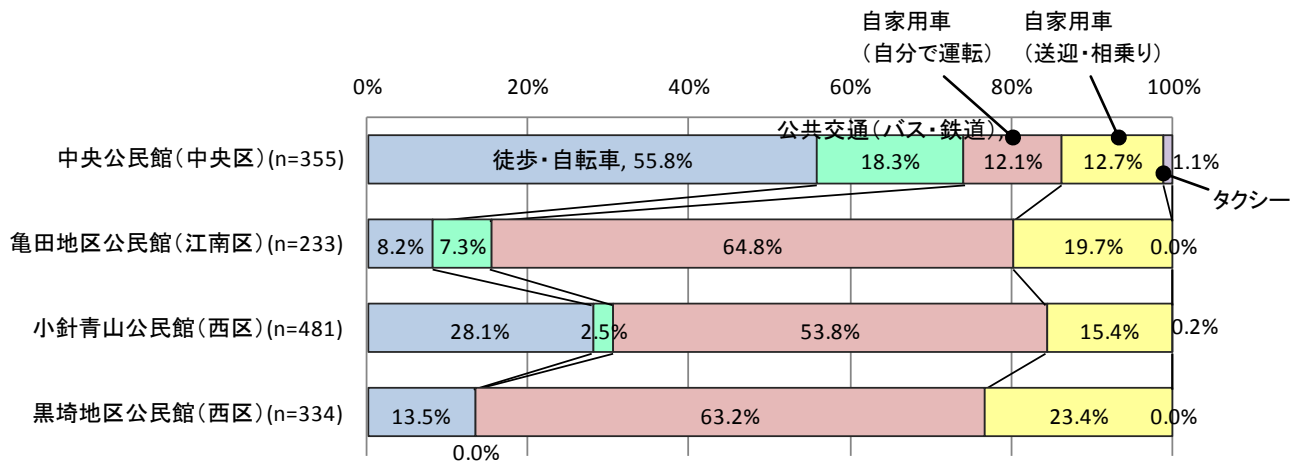
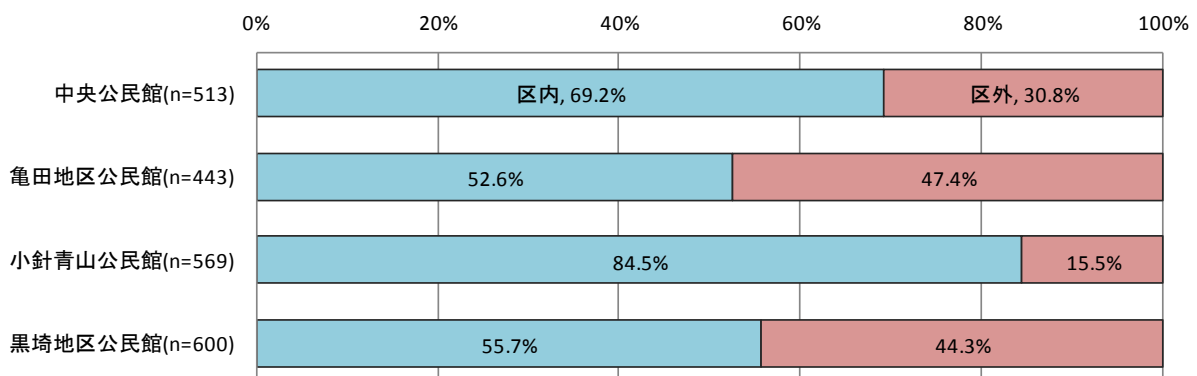


図 -59 利用者の居住区の状況（館立区内外の別の割合）



2-8 公民館施設が開放されたら使いたいと思うか

公民館利用登録団体以外のグループ・個人に対し、現状では利用登録がないと利用できない公民館について、利用の意向を尋ねた設問です。

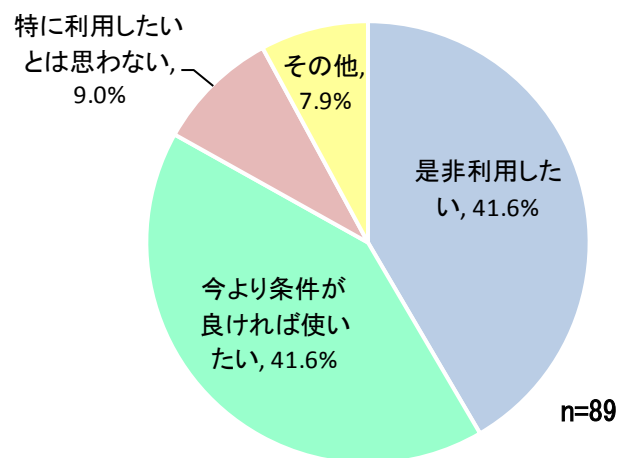
- ・ 公民館利用登録をしていない利用者 125 人に対し質問。
- ・ 「是非利用したい」、「今より条件が良ければ利用したい」とあわせて 83.2%が「使いたい」と回答しています（不明・無回答分 36 人を除く）。

<設問>

問9：公民館は、公民館利用登録※をした上で利用する施設ですが、あなたがそのような施設を利用することができるとしたら、利用しますか。

※公民館の利用登録ができる団体とは、市内在住・在勤・在学の市民を中心として、おおむね 5 人以上の社会教育的な集会を行う団体で、営利事業（私塾や稽古教室も含む）を行わないこと、政治活動や宗教活動を行わないことを条件としています。公民館の利用登録団体には、公民館利用の際に、公民館利用料金が適用され、1 年前からの施設予約が可能です。

図 -60 公民館利用の意向（公民館利用登録していない施設利用者のみ）



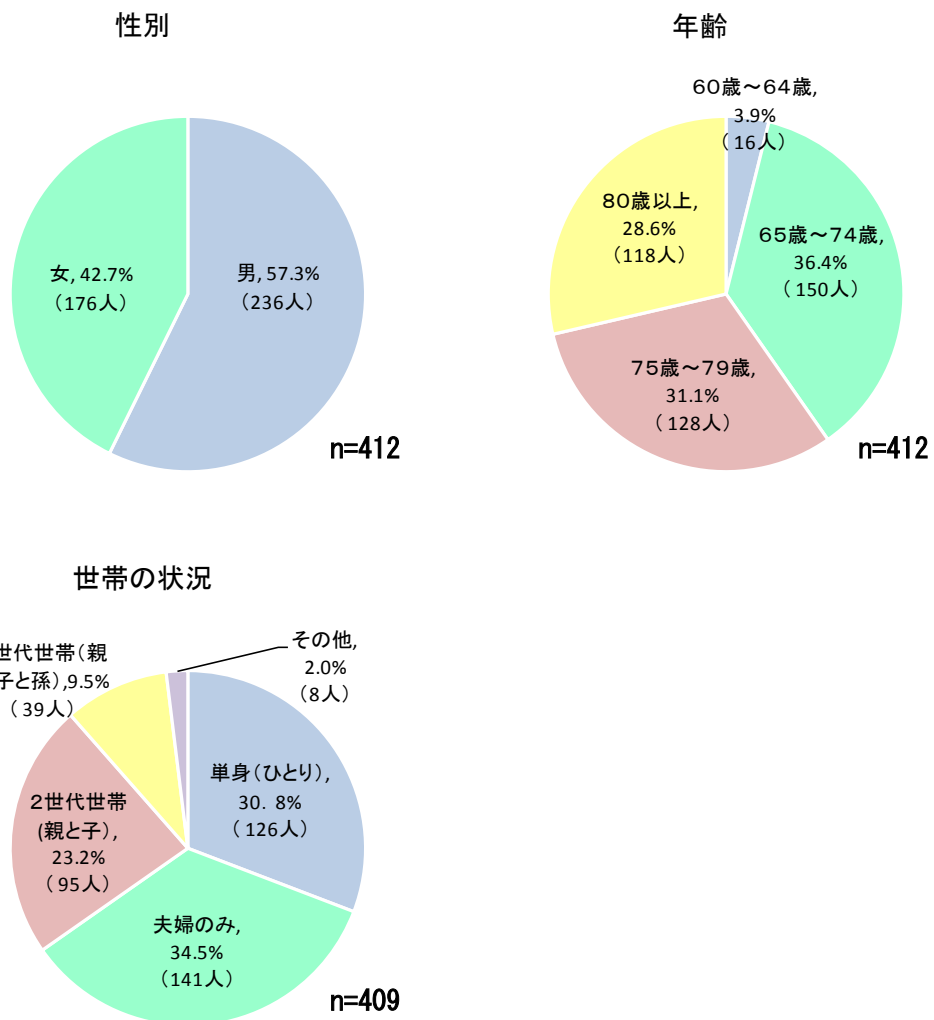
3. 公共施設利用者アンケート（老人憩の家）

3-1 施設利用者の状況

- ・ 調査回答者の男女の別では、男性 57.3%、女性 42.7%で、男性の利用の割合が高くなっています。
- ・ 調査回答者の年齢層をみると、75 歳以上が約 6 割を占めています。
- ・ 調査回答者の世帯の状況は、単身世帯が 30.8%、夫婦のみ世帯が 34.5%で、いずれも市全体の割合※と比べて高くなっています。

※65 歳以上の人がある世帯のうち、65 歳以上単身世帯の割合（平成 22 年国勢調査）と比較

図 -61 利用者の属性



参考：世帯の状況 全市データとの比較

	市全体の状況(A※)	本調査(B)	差(A)-(B)
単身世帯が占める割合	19.1%	30.8%	+11.7%
夫婦のみ世帯が占める割合	23.4%	34.5%	+11.1%

3-2 利用頻度・利用時間と利用目的

- 施設の利用頻度では、「ほとんど毎日」が5割超を占め、次いで「週に2～3回くらい」(36.1%)、週に1回くらい(6.9%)となっています。
- 利用目的では、回答者の約8割が「風呂に入ること」を選択しています(※複数回答可)。
- 利用頻度と利用目的の関係をみると、利用目的を風呂以外の目的とした回答と、風呂に入ることを含めた回答とでは、利用頻度の傾向に違いがみられました。
- 利用者の滞在時間では「1時間程度」(33.0%)が最も多く、次いで「30分程度」(21.8%)、「3時間程度」(16.6%)となっています。
- 滞在時間と利用目的の関係をみると、利用目的を風呂以外の目的とした回答と、風呂に入ることを含めた回答とでは、滞在時間の傾向に違いがみられました。

<設問>

問6：この1年間、あなたは、この施設をどの程度利用しましたか。(○は1つだけ)

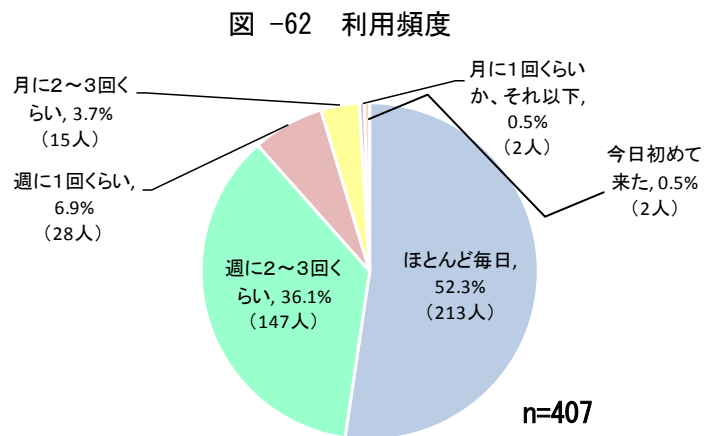


表 -3 老人憩の家実利用者数の推計

	割合	年間利用回数 (年間開館日数施設平均 292日)	
		※1 年間利用回数 多めで試算 (単位:日)	※2 年間利用回数 少なめで試算 (単位:日)
ほとんど毎日	52.3%	260	234
週2～3回くらい	36.1%	156	104
週1回くらい	6.9%	52	52
月2～3回くらい	3.7%	36	24
月1回かそれ以下	0.5%	12	12
初めて	0.5%	1	1
	推定実人数	1,997人	2,395人

※1
 $260日 \times 0.523x + 156日 \times 0.361x + 52日 \times 0.069x + 36日 \times 0.037x + 12日 \times 0.005x + 1日 \times 0.005x = 393,938$ 人のとき、xは1,997人

※2
 $234日 \times 0.523x + 104日 \times 0.361x + 52日 \times 0.069x + 24日 \times 0.037x + 12日 \times 0.005x + 1日 \times 0.005x = 393,938$ 人のとき、xは2,395人

※ 利用頻度とその割合から、平成24年度延べ利用者数(393,938人、H25財産白書)を基準に、実利用者数を推計すると、全市でおよそ2,000から2,400人となる。

<設問>

問9：あなたがこの施設に来る目的は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

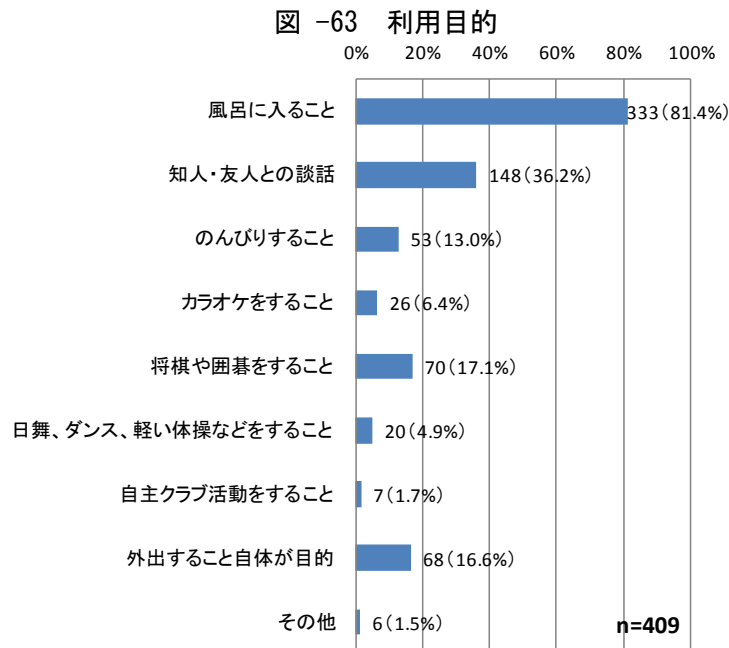
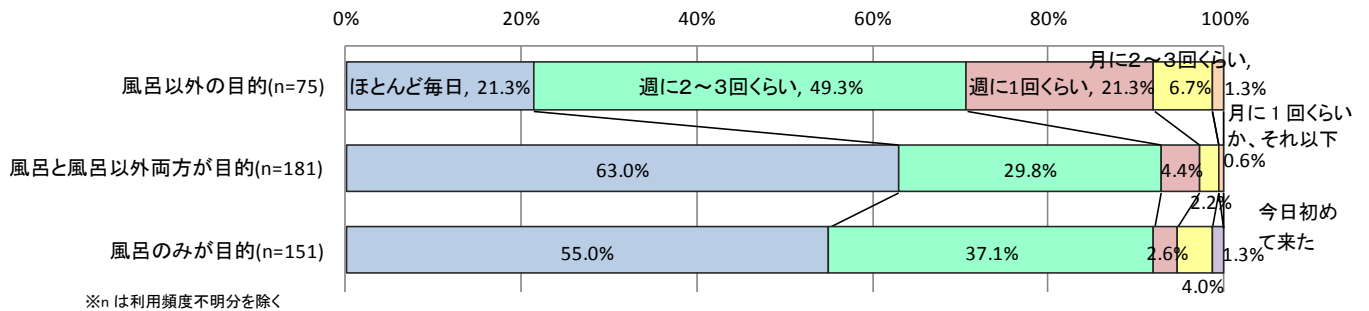


図 -64 利用頻度と利用目的の関係



<設問>

問7：この施設で過ごす時間はどの程度ですか。(〇は1つだけ)

図 -65 利用者の滞在時間

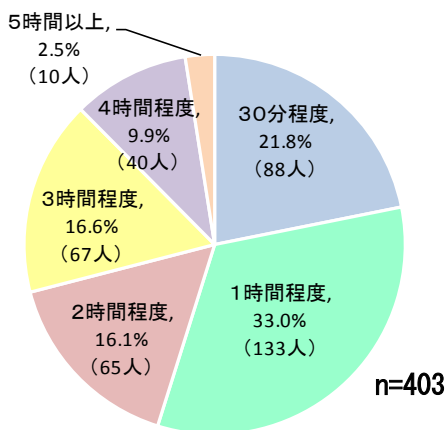
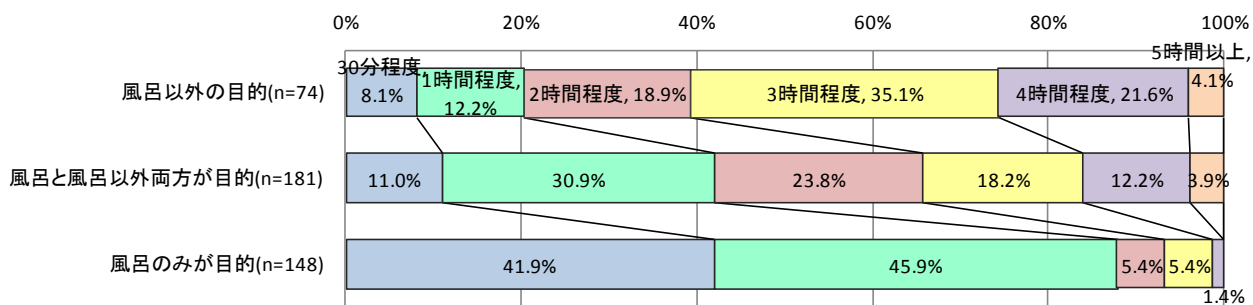


図 -66 滞在時間と利用目的の関係



※nは滞在時間不明分を除く

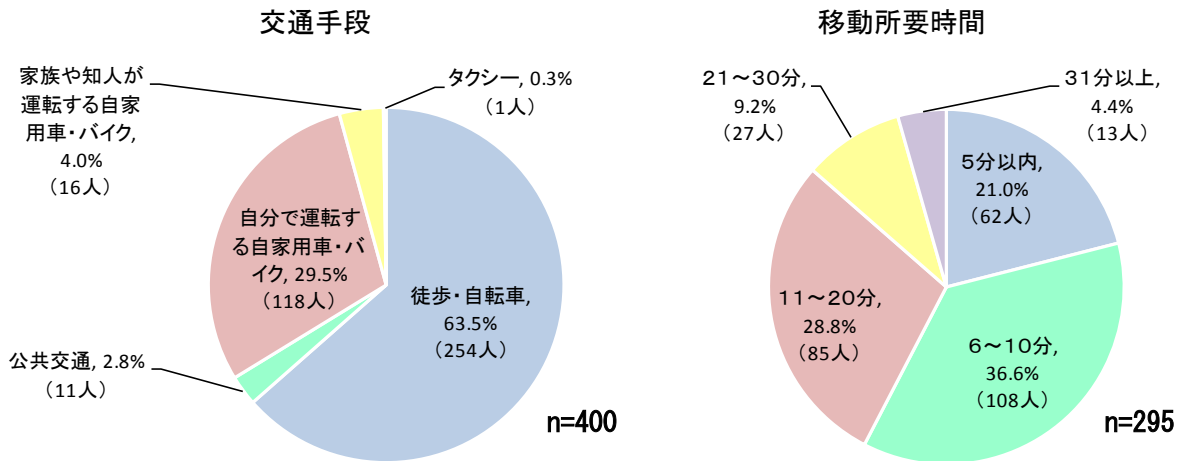
3-3 交通手段と移動時間の状況

- ・ 交通手段は、「徒歩・自転車」の割合が最も高く（63.5%）、次いで「自分で運転する自家用車・バイク」（29.5%）、「家族や知人が運転する自家用車・バイク」（4.0%）となっています。
- ・ 移動時間は、「6～10分」の割合が最も高く（36.6%）、次いで「11～20分」（28.8%）、「5分以内」（21.0%）となっています。

<設問>

問8：この1年間、あなたがこの施設を利用したとき、もっともよく使った交通手段と、移動のための所要時間を教えてください。（〇は1つだけ）

図 -67 交通手段と移動所要時間



3-4 「老人憩の家」の開放について

現在、「老人憩の家」は、高齢者福祉を目的に、60歳以上の市民に限定して無料（入浴のみ1回100円）で利用されていますが、これを地域の活動などの目的を対象に多機能化することについて、利用者の意向を尋ねた設問です。

- 「老人憩の家」を、地域の活動などに使うことの是非については、「よいと思うし、参加してみたいと思う」、「よいと思うが、自分が参加するかどうかはわからない」を合わせて、賛同する意見が78.5%となっています。

<設問>

問10：「老人憩の家」は、60歳以上の人のための施設となっていますが、つぎのような場合に「老人憩の家」を使うことについて、どう思いますか。

- 地域の活動（自治会・町内会、子ども会、PTAなど）
- 「地域の茶の間」のような交流会

<選択肢>

- よいと思うし、参加してみたいと思う。
- よいと思うが、自分が参加するかどうかはわからない
- あまりよいとは思えない
- よくない
- わからない

図 -68 「老人憩の家」を地域活動などに使うことの是非

